

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010300	事業の種類	0
年度	30	事務事業名	土地利用規制等対策事業	予算事業名	土地利用規制等対策事業 優先度 -
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	團
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	今井
根拠法規及び関連法規		国土利用計画法・公有地の拡大の推進に関する法律等			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	土地取得者・土地を有償で譲り渡そうとする当該土地所有者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	総合的で計画的な国土利用を図る。また、必要な土地の先買いを行い、公有地の拡大の計画的な推進を図り、もって地域の秩序ある整備と公共の福祉の増進を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		一定面積以上の土地取引において、買主から出された「土地売買等届出」を受理し、県に進達する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	国土法届出件数	件	6	2	4	3
	公拡法届出件数	件	0	0	3	0
	用地取得面積	m ²	0	0	0	0

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.080	0.040	50	0.040	100	0.040	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	951,226	679,832	71	667,100	98	650,484	98	
	事業費	0	0	-	1,780	-	5,000	281	
	合計	951,226	679,832	71	668,880	98	655,484	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	13,000	17,000	131	11,000	65	11,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	938,226	662,832	71	657,880	99	644,484	98	
合計	951,226	679,832	71	668,880	98	655,484	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		届出件数の増減							
指標説明(式)		国土法届出件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	6	2	33.3	4	200.0			
指標名2		届出件数の増減							
指標説明(式)		公拡法届出件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	3	-			

【効率性】

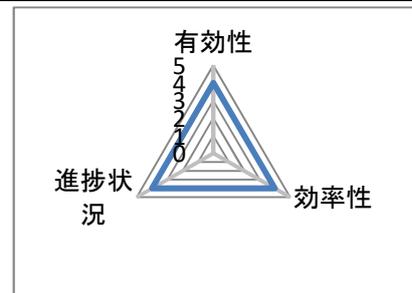
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令から見た 効果	法令上の届出基準を遵守し、届出等の受理を行った。	4
効率性	執行体制の 効率性	速やかに届出等を受理し、県に送付を行った。	4
進捗状況	事業計画に 対する進捗状 況	公拡法による届出、申出事務が平成24年度より市に権限移譲されたが、届出件数はほとんどない状況である。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の 効率性	届出内容について、県との連絡調整が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の 効率性	県との連絡調整の強化。

配点	32.5
総合評価	12

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010400		事業の種類	3			
年度	30	事務事業名	都市計画基礎調査事業		予算事業名	都市計画基礎調査事業 優先度		3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名					
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	寺田 大輔		担当者名	宮崎 晃	
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名		相生市都市計画マスタープラン見直し事業			都市計画地形図修正事業				
		都市計画道路整備事業			緑の基本計画の見直し事業				
根拠法規及び関連法規		都市計画法第6条(県からの協力要請)							
事業の目的	誰のために(具体的に)	都市計画に必要な事項に関する基礎資料として都市の状況を把握するため調査をする。							
	誰(何)を対象として	都市計画区域の人々							
	意図(どのような状態にしたいのか)	都市の現状、都市化の動向等を正確に把握し都市計画の決定、変更を行うための基準となる。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		兵庫県都市計画基礎調査要綱に基づき、人口規模、就業人口の規模、市街地の面積、世帯数及び住宅戸数、住宅の規模、建築物の用途、構造、建築面積及び延べ面積等について項目を5年に分けてに調査し、6年目には当初の項目に戻って調査を繰り返している。							
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画			
	都市計画基礎調査	件	1	1	1	1			

3 投入資源

		会計区分			一般会計				事業費単位:円	
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104		
	参事以下職員	0.660	0.492	75	0.656	133	0.656	100		
	臨時職員			-		-		-		
支出内訳	人件費	5,321,526	4,168,368	78	5,246,444	126	5,489,164	105		
	事業費	50,421	115,440	229	99,853	86	106,000	106		
	合計	5,371,947	4,283,808	80	5,346,297	125	5,595,164	105		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金			-	270,000	-	270,000	100		
	市債			-		-		-		
	その他			-		-		-		
	一般財源	5,371,947	4,283,808	80	5,076,297	118	5,325,164	105		
合計	5,371,947	4,283,808	80	5,346,297	125	5,595,164	105			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県からの委託状況								
指標説明(式)		委託料								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考	
円	目標	270000	270000	100.0	270000	100.0	270000	100.0		
	実績	270000	270000	100.0	270000	100.0				
指標名2										
指標説明(式)										
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考	
	目標			-		-		-		
	実績			-		-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

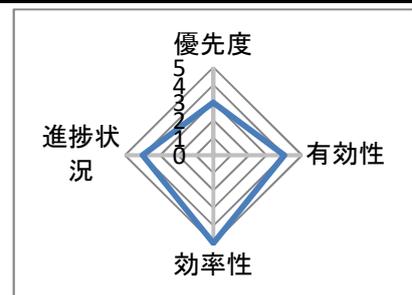
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	法令で義務付けられている事務事業。	4
	上位施策への貢献度	この調査は、県が主体となるが、しいては本市の将来の都市計画を見直す際の基礎資料となるため十分有効活用が図られている。	
効率性	コストの節減	図面等については、近年徐々に改善され、県のシステムにてWeb入力し、メディアによる提出が不要となり、コスト縮減に努められている。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	この調査は、県の調査委託に基づき実施しているが、事業量から評価すれば市の負担は大きい、市においてもこの資料を都市計画決定時に参考資料としている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	基礎調査に必要なデータを建築係、農業委員会、各道路管理者から供与していただき作業を行うが、効率よく実施する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010500		事業の種類	1		
年度	30	事務事業名	屋外広告物取扱事業		予算事業名	屋外広告物取扱事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	團	担当者名	今井	
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		屋外広告物法、兵庫県屋外広告物条例、兵庫県屋外広告物条例施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	屋外広告物掲出者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	屋外広告物の掲出に必要な規制を行い、街の美観・風致を維持しつつ安全性を高め、市民の安全かつ快適な生活の維持を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		週1回(月4回)違法屋外広告物簡易除却事業を実施				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	除却件数	件	20	28	3	10
	掲出審査件数	件	246	206	254	200

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.640	0.192	30	0.192	100	0.192	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	5,170,826	1,852,968	36	1,797,068	97	1,844,444	103	
	事業費	548,066	559,560	102	548,196	98	306,000	56	
	合計	5,718,892	2,412,528	42	2,345,264	97	2,150,444	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	549,500	359,800	65	535,500	149	350,000	65	
	一般財源	5,718,892	2,052,728	36	1,809,764	88	1,800,444	99	
合計	5,718,892	2,412,528	42	2,345,264	97	2,150,444	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		除却件数の増減							
指標説明(式)		除却件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	20	28	140.0	3	10.7			
指標名2		掲出許可件数の増減							
指標説明(式)		掲出許可件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	200	200	100.0	200	100.0	200	100.0	
	実績	246	206	83.7	254	123.3			

【効率性】

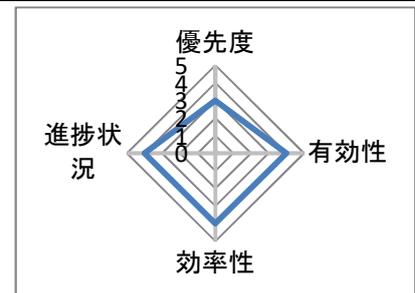
指標名1		仕事作業効率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		(除却件数+掲出許可件数) / (1,938時間×参事以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0.2	0.3	150.0	0.4	133.3	0.4	100.0	
	実績	0.21	0.63	300.0	0.69	109.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	件数は毎年異なるので単純に数値で比較できないが、違法広告物の除却を迅速に行うとともに適正な屋外広告物の掲出につなげることで、良好な生活環境の整備が図られる。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	屋外広告物は、営業の自由と市民生活の景観や安全との関係上、公共の福祉の制約を受けるものであるから、両者の対立利益を調整する上で必用な施策である。	
効率性	コストの節減	仕事作業効率が向上している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010600		事業の種類	6	
年度	30	事務事業名	東部土地区画整理事業		予算事業名	東部土地区画整理事業 優先度 2	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	寺田 大輔	担当者名	宮崎 晃
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		土地区画整理法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業地内の土地所有者					
	誰(何)を対象として	事業地内の土地所有者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	平成27年度に東部土地区画整理事業の廃止を行った。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		組合施行による土地区画整理事業の事業の廃止を行った。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	準備委員会等	回	0	0	0	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.008	0.006	75	0.008	133	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	408,706	417,420	102	429,212	103	399,124	93	
	事業費	0	0	-	0	-	22,000	-	
	合計	408,706	417,420	102	429,212	103	421,124	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	408,706	417,420	102	429,212	103	421,124	98	
合計	408,706	417,420	102	429,212	103	421,124	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		準備委員会開催							
指標説明(式)		準備委員会開催回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

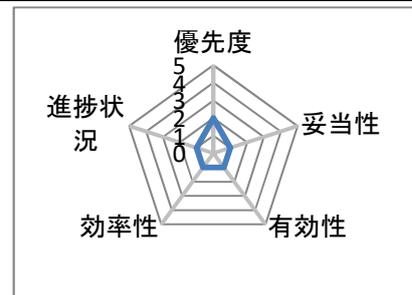
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	平成27年度 事業の廃止が決定された。	1
効率性	手段の最適性	平成27年度 事業の廃止が決定された。	1
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成27年度 事業の廃止が決定された。	1

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	平成27年度に東部区画整理事業の廃止を行った。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	平成27年度に東部区画整理事業の廃止を行った。

配点	32.5
総合評価	8.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010700		事業の種類	1		
年度	30	事務事業名	特別指定区域事業		予算事業名	優先度		3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	寺田 大輔	担当者名	宮崎 晃	
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		都市計画法第34条12号・兵庫県都市計画法施行条例8条						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市街化調整区域の規制緩和のため「地縁者の住宅区域」を指定し集落周辺に10年以上居住したことのある地縁者であれば住宅建設が可能。						
	誰(何)を対象として	市土地利用基本計画に基づいて特別指定区域を定めた地区。						
	意図(どのような状態にしたいのか)	平成18年5月に既存宅地制度が廃止されたことから、この代替施策を兼ねこの度の導入として市土地利用基本計画を策定し地縁者の住宅建設に対応した規制緩和を行う。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		土地利用計画の策定・特別指定区域の指定(地縁者の住宅区域)				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	土地利用計画策定	件	0	0	0	1
	特別指定区域の作成	件	0	0	0	0

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.024	0.404	1,683	0.560	139	0.600	107	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	529,266	3,489,184	659	4,532,780	130	5,049,284	111	
	事業費			-		-		-	
	合計	529,266	3,489,184	659	4,532,780	130	5,049,284	111	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	529,266	3,489,184	659	4,532,780	130	5,049,284	111	
合計	529,266	3,489,184	659	4,532,780	130	5,049,284	111		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地元説明会開催回数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

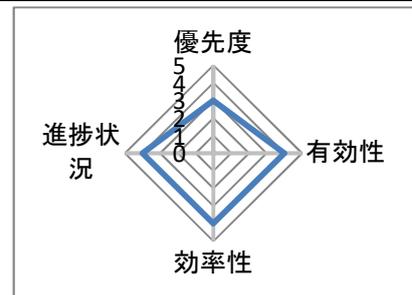
指標名1		1ha当たりのコスト							
指標説明(式)		当該年度事業費合計÷市街化調整区域の面積							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令等から見た効果	法令及び条例等義務付けられている事務事業。	4
効率性	手段の最適性	基礎調査のデータ等の活用により特別指定区域の素案作成を効率的に行うことができる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	関係(根拠) 法令から見た効果	平成28年度に都市計画マスタープランの改定を行った。この計画に即した特別指定区域を検討し、市街化調整区域の街づくりを推進する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	関係(根拠) 法令から見た効果	平成28年度に都市計画マスタープランの改定を行った。この計画に即した特別指定区域を検討し、土地利用計画を推進していく。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010800		事業の種類	4	
年度	30	事務事業名	地区計画決定事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	寺田 大輔	担当者名	名倉 禎庸
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		都市計画法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	計画決定予定地区の権利者					
	誰(何)を対象として	区域内の道路、公園等の施設整備、建築物等に関する事項					
	意図(どのような状態にしたいのか)	道路、公園等の施設整備、建築物の建築等に関し必要な事項を一体的かつ総合的に定め良好な住環境の整備を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		一体的な整備及び保全を図る区域について、主として街区内の居住者等の利用に供される道路、公園等の施設整備、建築物の建築等に関し必要な事項を一体的かつ総合的に定める。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	決定地区件数	件	0	0	0	

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.072	0.048	67	0.044	92	0.032	73	
	臨時職員		0.020	-		0		-	
支出内訳	人件費	890,946	794,256	89	696,836	88	587,644	84	
	事業費			-		-		-	
	合計	890,946	794,256	89	696,836	88	587,644	84	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	890,946	794,256	89	696,836	88	587,644	84	
合計	890,946	794,256	89	696,836	88	587,644	84		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地区計画決定件数							
指標説明(式)		地区計画決定件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標			-		-		-	
	実績	0	0	-	0	-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

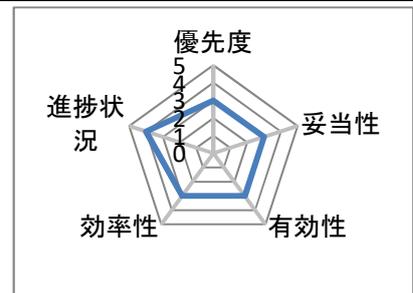
指標名1		地区計画内容権利者協議時間							
指標説明(式)		地区計画決定に当たり、権利者との協議等に要する時間							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	0	0	-	0	-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令等から見た効果	新市街地において地区計画決定を検討	3
効率性	執行体制の 効率性	決定内容の権利者の意向の掌握、合意形成が困難	3
進捗状況	事業計画に 対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠) 法令から見た効果	計画決定候補地が少ない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠) 法令から見た効果	新市街地において地区計画決定を検討する。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010900		事業の種類	1			
年度	30	事務事業名	地籍調査事業		予算事業名	地籍調査事業		優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する			担当課長	竹本 頼高	担当者名	松下 亮太	
取組み事項		計画的な都市空間を形成する			実施計画への記載	有	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		地籍調査事業(システム含む)							
根拠法規及び関連法規		国土調査法							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民(土地の明確化により、公共事業及び土地取引等が円滑にできるようになり、個人資産の保全につながる)							
	誰(何)を対象として	土地所有者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	一筆毎の土地の、所有者・地番・地目・境界を確認し、面積を測量し、正確な地籍図・地籍簿を作る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		一筆毎の土地の、所有者・地番・地目・境界を確認し、面積を測量し、正確な地籍図・地籍簿を作る。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	地籍調査地区数	地区	3	3	4	4	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	1.684	1.616	96	2.220	137	0.936	42	
	臨時職員	0.920	0.920	100		0	0.876	-	
支出内訳	人件費	15,435,806	15,266,680	99	16,873,220	111	10,202,684	60	
	事業費	15,017,566	8,354,430	56	22,197,865	266	25,800,000	116	
	合計	30,453,372	23,621,110	78	39,071,085	165	36,002,684	92	
財源内訳	国庫支出金		3,766,000	-	14,051,000	373	12,700,000	90	
	県支出金	11,325,000	1,883,000	17	5,525,500	293	7,100,000	128	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	19,128,372	17,972,110	94	19,494,585	108	16,202,684	83	
合計	30,453,372	23,621,110	78	39,071,085	165	36,002,684	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業費							
指標説明(式)		事業費							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	15280000	12029000	78.7	26010000	216.2	25800000	99.2	
	実績	15017566	8354430	55.6	22197865	265.7			
指標名2		進捗率							
指標説明(式)		地籍調査対象面積(優先的に地籍の明確化を図る地域)に対する進捗率							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	13.5	14.3	105.9	15.1	105.6	16	106.0	
	実績	13.5	14.3	105.9	15.1	105.6			

【効率性】

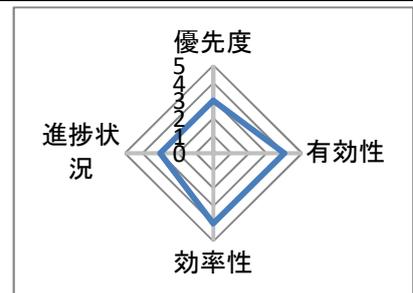
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業目標より、交付金の減額等により一部工程が遅れた。。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令等の意図と合致している。	
効率性	コストの節減	入札による削減が図られている。	4
	執行体制の効率性	事業委託により、効率的に行われている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画より一部の工程が遅れた。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	国からの交付金が減額されたことにより、事業の工程が一部遅れた。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	事業執行をより確実なものとするため、研修等に積極的に参加し、担当者のスキルの向上を図る。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101011000		事業の種類	1	
年度	30	事務事業名	都市計画議事運営事業		予算事業名	都市計画総務費事務経費 優先度 3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	寺田 大輔	担当者名	宮崎 晃
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		都市計画法77条の2第1項・相生市都市計画審議会条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	都市計画区域の人々					
	誰(何)を対象として	市の都市計画について					
	意図(どのような状態にしたいのか)	審議会を開催し、事案を諮問し答申を得る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		都市計画法によりその権限に属された事項を調査審議させ、及び市長の諮問に応じ都市計画に関する事項を調査審議する。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	都市計画審議会開催	回	3	2	0	3	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.788	0.580	74	0.720	124	0.720	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	6,286,006	4,847,552	77	5,722,220	118	5,991,884	105	
	事業費	7,918,621	367,752	5	56,332,941	15,318	5,098,000	9	
	合計	14,204,627	5,215,304	37	62,055,161	1,190	11,089,884	18	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	14,204,627	5,215,304	37	62,055,161	1,190	11,089,884	18	
合計	14,204,627	5,215,304	37	62,055,161	1,190	11,089,884	18		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		都市計画審議会開催回数							
指標説明(式)		実施開催回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	2	66.7	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

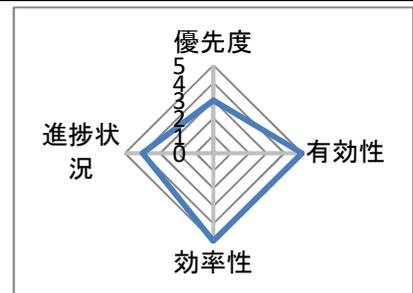
指標名1		都市計画審議会1回当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費÷開催回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	162000	162000	100.0	162000	100.0	162000	100.0	
	実績	54000	46100	85.4	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	法令及び条例等で義務づけられている事務事業。	5
	成果目標(改善)達成度	都市計画決定により計画的なまちづくりの推進が出来た。	
効率性	執行体制の効率性	平成20年第1回定例市議会において審議会委員の定数を14人から10人に削減し効率的に運営を図った。	5
	コストの節減	審議会委員の県外視察の廃止。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	審議会委員の非公開から公開への移行。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	審議会議事運営要綱の施行に伴い、審議会は、原則公開としている。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101011100		事業の種類	3		
年度	30	事務事業名	土地区画整理事務事業		予算事業名	土地区画整理事務経費	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	寺田 大輔	担当者名	宮崎 晃	
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業実施者として、事業執行のための知識及び情報収集を行うことにより、事業の公平性、妥当性を図る。						
	誰(何)を対象として	事業実施者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	制度改正等に対応した適正な事業を執行するため。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		区画整理事業及び住環境整備事業遂行のための上部団体との情報交換				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	研修会等旅費	千円	4	0	0	14
	協議会等負担金	千円	29	29	25	25

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	348,426	371,112	107	369,740	100	336,284	91	
	事業費	29,000	29,000	100	25,000	86	39,000	156	
	合計	377,426	400,112	106	394,740	99	375,284	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	377,426	400,112	106	394,740	99	375,284	95	
合計	377,426	400,112	106	394,740	99	375,284	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

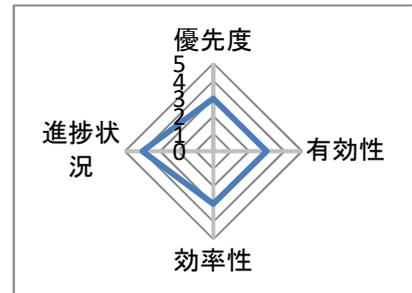
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	協議会等の負担金は、継続的であり前年度と同額である。	3
効率性	コストの節減	平成30年度は研修会出席を見送った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	相生市内の土地区画整理事業が平成29年度で終了した。今後は、団体加入への精査を行う。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	相生市内の土地区画整理事業が平成29年度で終了した。今後は、団体加入への精査を行う。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101020100		事業の種類	6	
年度	30	事務事業名	相生駅南土地区画整理事業		予算事業名		
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	寺田 大輔	担当者名	宮崎 晃	
取組み事項	都市核を形成する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		土地区画整理法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業地内の土地所有者					
	誰(何)を対象として	事業地内の土地所有者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	土地区画整理事業の事業変更及び幹線道路等の都市基盤施設の整備改善を行い、良好な市街地を形成し、宅地の利用促進を図り、魅力あるまちづくりを行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		土地区画整理事業の事業変更及び幹線道路等の都市基盤施設の整備改善を行い、良好な市街地を形成し、宅地の利用促進を図り、魅力あるまちづくりを行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	道路整備	m	0	0	0	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.048	0.018	38		0		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	710,106	510,036	72	369,740	72	336,284	91	
	事業費	1,675,420	100,709	6		0		-	
	合計	2,385,526	610,745	26	369,740	61	336,284	91	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,385,526	610,745	26	369,740	61	336,284	91	
合計	2,385,526	610,745	26	369,740	61	336,284	91		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		道路整備延長							
指標説明(式)		道路整備延長							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
m	目標	0	0	-	0	-		-	
	実績	0	0	-	0	-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

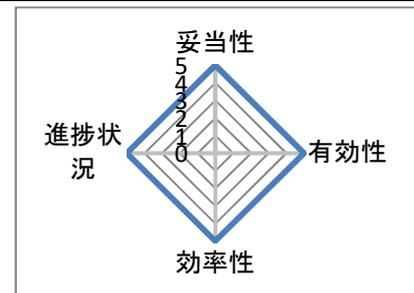
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	平成29年度 換地処分は完了した。	5
効率性	執行体制の効率性	平成19年度より課内の係員の減があったが、今年度も同じく執行体制の効率性を図った。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗した。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	平成29年度 清算事務が完了した。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	平成29年度 清算事務が完了した。

配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101020200		事業の種類	3	
年度	30	事務事業名	相生駅南地区街づくり助成事業		予算事業名	相生駅南地区街づくり助成事業 優先度 3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	寺田 大輔	担当者名	宮崎 晃
取組み事項		都市核を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業地内の商業地区における土地及び建物の所有者					
	誰(何)を対象として	事業地内の商業地区において、要件を満たした建物を建築した場合に、その建築物及び敷地。					
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業地内の商業地区において、土地の有効利用を促進することにより、駅前の高度利用を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生駅南土地区画整理事業区域内の商業地域内で、土地使用収益開始の日から5年以内に、「相生駅南地区建築行為等の遵守基準」に適合し、かつ地上4階建以上で1階から4階までの各階床面積が200㎡を超える建築物の所有者及び土地所有者に、対象建築物とその敷					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	助成金額	千円	9914	3979	3955	3970	
	助成件数	件	2	1	1	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.024		0	0.024	-	0.024	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	529,266	371,112	70	548,156	148	524,804	96	
	事業費	9,914,000	3,979,000	40	3,955,000	99	3,970,000	100	
	合計	10,443,266	4,350,112	42	4,503,156	104	4,494,804	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	10,443,266	4,350,112	42	4,503,156	104	4,494,804	100	
合計	10,443,266	4,350,112	42	4,503,156	104	4,494,804	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成土地利用率							
指標説明(式)		(助成決定面積による)助成対象土地面積/駅南商業地全体面積(31,000㎡)×100 H21=(650+747+905+637)/31,000×100=9.5							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	9.5	9.5	100.0	9.5	100.0	9.5	100.0	
	実績	9.5	9.5	100.0	9.5	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

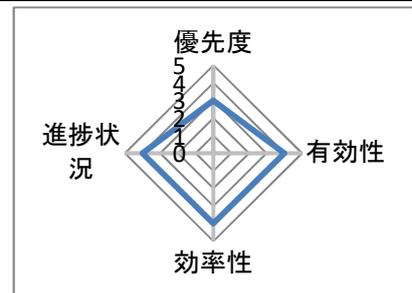
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	駅前地区の高度利用が図られつつある。	4
効率性	執行体制の効率性	助成対象となる土地の評価額等の動向を読み、今後の事業費の予測を的確に把握している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	上位施策への貢献度	大規模な建物が建設されることにより、高度化が図られた。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	助成期間が終了し、助成対象となる建物が減少しているが、事業は継続していく。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030200		事業の種類	3		
年度	30	事務事業名	經由進達事業		予算事業名	優先度		3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する			担当課長	寺田 大輔	担当者名	名倉 禎庸
取組み事項		住環境の整備と保全を行う			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		租税特別措置法、県：景観の形成等に関する条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	県						
	誰(何)を対象として	建築確認申請・道路位置指定申請・優良住宅認定申請・耐震改修補助申請・大規模建築物等の届出・建基法上の許認可申請・都計法上の許認可申請						
	意図(どのような状態にしたいのか)	県への經由進達						

2 事業の概要 Do

実施の概要		建築基準法、租税特別措置法、景観の形成等に関する条例(県条例)に基づき市の意見書、進達書等を付して進達する。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	確認申請受付件数	件	4	4	3		
	調査依頼件数	件	130	125	130		
	大規模建築物届出件数	件	1	1	4		
	建基法・都計法許認可申請	件	11	18	6		

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.208	0.080	38	0.596	745	0.320	54	
	臨時職員		0.160	-		0		-	
支出内訳	人件費	1,915,706	1,409,992	74	4,800,404	340	2,849,884	59	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,915,706	1,409,992	74	4,800,404	340	2,849,884	59	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,915,706	1,409,992	74	4,800,404	340	2,849,884	59	
合計	1,915,706	1,409,992	74	4,800,404	340	2,849,884	59		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		確認申請1件あたり調査書作成手数料							
指標説明(式)		(指定確認検査機関よりの納入額 + 移譲事務市町交付金) ÷ 調査件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績	3076	2885	93.8		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

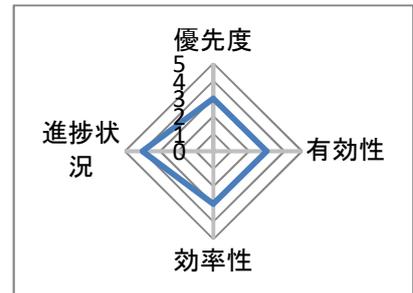
指標名1		確認申請1件あたり受付処理時間(事前相談含む。)							
指標説明(式)		従事時間数(56 時間) ÷ 1年間の受付件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	5	5	100.0		0.0			
指標名2		調査依頼1件あたり受付処理時間							
指標説明(式)		従事時間数(691 時間) ÷ 1年間の受付件数(事前相談件数含む)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	6	6	100.0		0.0			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	建築確認申請の審査が特定行政庁から民間の指定機関へ移行している。	3
効率性	コストの節減	どのようにして事務処理時間の短縮を図れるか。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	法的に市の経由進達についての根拠がなく窓口市ということで経由しており、関与の必要性が薄い経由事務がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	1件あたりの事務処理時間の短縮に努める。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030300		事業の種類	1		
年度	30	事務事業名	開発行為関連事業		予算事業名	優先度		3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	寺田 大輔	担当者名	名倉 禎庸	
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		都市計画法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	開発計画等のある者又はその代理人						
	誰(何)を対象として	都市計画法32条に基づく同意・協議申請及び29条に基づく開発許可申請						
	意図(どのような状態にしたいのか)	32条に基づく協議及び同意、29条に基づく申請の経由進達						

2 事業の概要 Do

実施の概要		開発行為により設置される公共施設の管理者協議のとりまとめ、開発の技術基準に基づく指導。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	32条協議申請	件	7	5	4		
	29条申請	件	6	5	4		

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.720	0.540	75	0.660	122	0.668	101	
	臨時職員		0.012	-		0		-	
支出内訳	人件費	5,773,626	4,570,440	79	5,276,180	115	5,583,424	106	
	事業費			-		-		-	
	合計	5,773,626	4,570,440	79	5,276,180	115	5,583,424	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,773,626	4,570,440	79	5,276,180	115	5,583,424	106	
合計	5,773,626	4,570,440	79	5,276,180	115	5,583,424	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない							
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

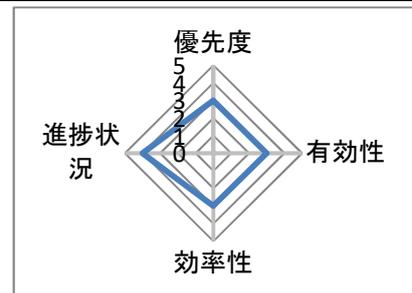
指標名1		32条協議 1件あたり処理期間(事前協議含む。)							
指標説明(式)		従事時間数(543時間) ÷ 1年間の協議件数(事前相談件数含む)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	77	108	140.3	135	125.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	帰属される公共施設の管理者協議のとりまとめをする。	3
効率性	執行体制の効率性	関係各課を対象とする連絡調整会議又は個別各課協議。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	関係各課及び関係機関との協議方法



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	関係各課及び申請代理人を交えて調整会議を開催し、情報共有や課題の把握を行う。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030400		事業の種類	1	
年度	30	事務事業名	優良住宅・宅地認定事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	寺田 大輔	担当者名	名倉 禎庸
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		租税特別措置法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	優良住宅・宅地					
	意図(どのような状態にしたいのか)	優良住宅・優良宅地の認定基準に適合するものを認定し、税制上の優遇措置を受けてもらう。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		租税特別措置法の認定基準に合う住宅・宅地の認定をする。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	認定件数	件	0	0	0	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.032	0.012	38	0.016	133	0.028	175	
	臨時職員		0.008	-		0		-	
支出内訳	人件費	589,546	484,800	82	488,684	101	556,224	114	
	事業費			-		-		-	
	合計	589,546	484,800	82	488,684	101	556,224	114	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	589,546	484,800	82	488,684	101	556,224	114	
合計	589,546	484,800	82	488,684	101	556,224	114		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない							
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		申請書1件あたり受付審査時間							
指標説明(式)		従事時間数 ÷ 1年間の申請件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	0	0	-	0	-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	税の特例を受けるための制度であるが、制度利用者等は少ない。	3
効率性	コストの節減	どのようにして事務処理時間の短縮を図れるか。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

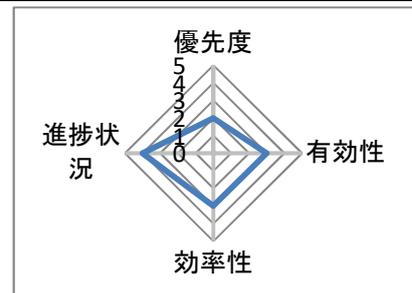
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	制度の必要性が薄れてきている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	1件あたりの事務処理時間の短縮に努める。



配点	25
総合評価	14

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030500		事業の種類	1	
年度	30	事務事業名	地区計画適合審査事業		予算事業名		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	寺田 大輔	担当者名	名倉 禎庸
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		都市計画法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	地区計画決定区域内で建築行為等を行おうとする者又はその代理人					
	誰(何)を対象として	地区計画区域内の建築行為等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	建築行為等が地区計画の決定内容に適合するよう指導することにより区域内の良好な環境の保全、整備を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		地区計画決定区域内における建築行為等の届出書の受付及び決定事項に適合しているかどうかの審査をする。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	受付認定件数	件	4	5	1	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.188	0.084	45	0.172	205	0.156	91	
	臨時職員		0.060	-		0		-	
支出内訳	人件費	1,765,006	1,177,464	67	1,648,388	140	1,561,664	95	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,765,006	1,177,464	67	1,648,388	140	1,561,664	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,765,006	1,177,464	67	1,648,388	140	1,561,664	95	
合計	1,765,006	1,177,464	67	1,648,388	140	1,561,664	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない							
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

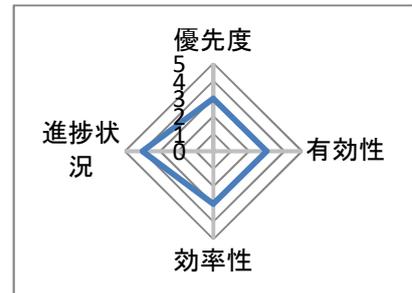
指標名1		届出書1件あたり受付審査時間							
指標説明(式)		従事時間数(221時間) ÷ 1年間の届出件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	55	44	80.0	221	502.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	決定区域内の良好な環境の保全、整備状況	3
効率性	コストの節減	審査用のチェック表の作成等審査時間の短縮を図っている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	区域内の土地利用が進むにつれ、届出件数は減少していく。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	届出後の変更等により、適合していないものがないか、現地確認が必要。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030600		事業の種類	1	
年度	30	事務事業名	道路判定台帳整備事業		予算事業名		
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	寺田 大輔	担当者名	名倉 禎庸	
取組み事項	住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		建築基準法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	建築計画のある市民及びその代理人					
	誰(何)を対象として	建築基準法上の道路に関する情報図					
	意図(どのような状態にしたいのか)	計画敷地が建築基準法上の道路に接道しているかどうか判断できる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		建物等建築計画のある市民に建築基準法上の道路の取り扱いについて情報を提供する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	書込路線件数	件	3	5	5	
	閲覧件数	件	182	196	189	

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.196	0.080	41	0.236	295	0.196	83	
	臨時職員		0.080	-		0		-	
支出内訳	人件費	1,825,286	1,199,272	66	2,124,164	177	1,875,864	88	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,825,286	1,199,272	66	2,124,164	177	1,875,864	88	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,825,286	1,199,272	66	2,124,164	177	1,875,864	88	
合計	1,825,286	1,199,272	66	2,124,164	177	1,875,864	88		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		道路判定閲覧件数							
指標説明(式)		道路判定結果を閲覧した件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標			-		-		-	
	実績	182	196	107.7	189	96.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

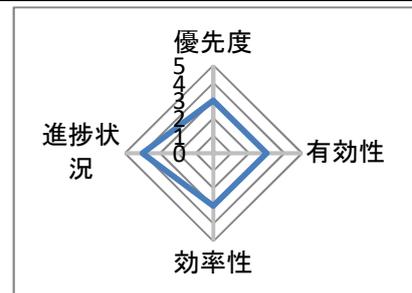
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	道路判定結果を市民の閲覧に供する。	3
効率性	執行体制の効率性	県民局の道路判定結果を地形図に書き込みしている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	建築基準法上の道路であるかの判定結果を閲覧に供しているが、未判定の道路が多くある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	県が道路判定する際に必要な資料、情報を前もって準備、提供する。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030700		事業の種類	1			
年度	30	事務事業名	市有建物営繕事業		予算事業名			優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する			担当課長	寺田 大輔	担当者名	名倉 禎庸	
取組み事項		住環境の整備と保全を行う			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	関係課							
	誰(何)を対象として	市有建物							
	意図(どのような状態にしたいのか)	市有建物の営繕工事において担当課にかわり建築技術職員が委託業務内容、工事内容を把握し設計書を作成する。又、契約図書等に基づき請負者に対し契約の履行を指導する。市							

2 事業の概要 Do

実施の概要		施設管理者に代わり業務委託・工事発注に必要な設計書を作成する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	委託件数	件	1	1	0	
	営繕工事件数	件	2	4	9	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	1.160	1.140	98	0.380	33	1.120	295	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	9,089,026	9,169,632	101	3,194,660	35	9,133,884	286	
	事業費			-		-		-	
	合計	9,089,026	9,169,632	101	3,194,660	35	9,133,884	286	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,089,026	9,169,632	101	3,194,660	35	9,133,884	286	
合計	9,089,026	9,169,632	101	3,194,660	35	9,133,884	286		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

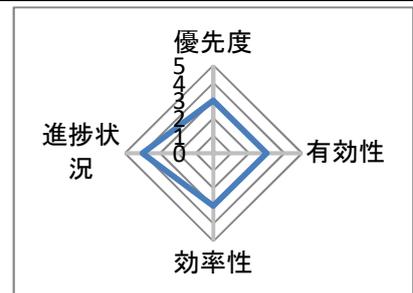
指標名1		営繕工事1件あたりの処理時間							
指標説明(式)		従事時間数(2635時間) ÷ 工事件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	376	419	111.4	82	19.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	施設管理上の営繕工事の実施	3
効率性	執行体制の効率性	関係各課より受託工事	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	耐震、破損、老朽箇所等の修繕のみを実施し、建物の延命化を図る工事が行われない傾向がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	建物の延命化、施設的环境改善を図る工事の提案をし、施設管理者に予算措置を依頼する。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030800		事業の種類	9	
年度	30	事務事業名	住環境整備費事務経費		予算事業名	住環境整備費事務経費 優先度	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	寺田 大輔	担当者名	名倉 禎庸
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)						
	誰(何)を対象として						
	意図(どのような状態にしたいのか)						

2 事業の概要 Do

実施の概要		旅費、消耗品費のみである。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.040	0.024	60	0.036	150	0.072	200	
	臨時職員		0.040	-		0		-	
支出内訳	人件費	649,826	661,704	102	637,364	96	901,844	141	
	事業費	135,935	108,480	80	181,660	167	202,000	111	
	合計	785,761	770,184	98	819,024	106	1,103,844	135	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	785,761	770,184	98	819,024	106	1,103,844	135	
合計	785,761	770,184	98	819,024	106	1,103,844	135		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

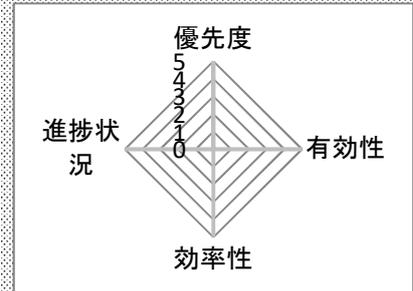
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030900	事業の種類	4
年度	30	事務事業名	空き家対策事業	予算事業名	空家等対策事業 優先度 3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	松本 秀文 担当者名 志水 弘樹
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	有 主要事業の指定 有
実施計画事業名		空き家対策事業			
根拠法規及び関連法規		空家等対策の推進に関する特別措置法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	空家等			
	意図(どのような状態にしたいのか)	空家等を適正管理することで、地域住民の生命、身体又は財産を保護するとともに、その生活環境の保全を図り、公共の福祉の増進と地域の振興に寄与することを目的とする			

2 事業の概要 Do

実施の概要		空家等実態調査等により空家件数を把握し、適正管理を促す また、優良空家の利活用、老朽危険空家の除却を進める。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	空家件数	棟	789	816	985	1000
	空家利活用相談	件	4	6	23	25
	空家苦情相談	件	23	43	35	50
	指導による改善	件	9	30	28	40

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.840	0.824	98	0.724	88	0.780	108	
	臨時職員	0.160	0.160	100	0.068	43		0	
支出内訳	人件費	7,094,946	7,152,184	101	5,940,248	83	6,463,184	109	
	事業費	96,929	2,397,490	2,473	1,548,586	65	10,490,000	677	
	合計	7,191,875	9,549,674	133	7,488,834	78	16,953,184	226	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,191,875	9,549,674	133	7,488,834	78	16,953,184	226	
合計	7,191,875	9,549,674	133	7,488,834	78	16,953,184	226		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		空家判定D判定(老朽危険空家等)の件数							
指標説明(式)		地域住民の安全のためD判定の空家(老朽危険空家等)の解消を促す							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
棟	目標	30	25	83.3	25	100.0	25	100.0	
	実績	28	26	92.9	19	73.1			
指標名2		空家指導による改善率							
指標説明(式)		空家苦情相談のあった案件について指導し所有者が改善を行った割合 計算式 指導による改善件数/空家苦情相談件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	80	80	100.0	80	100.0	80	100.0	
	実績	39.1	69.8	178.5	80.0	114.6			

【効率性】

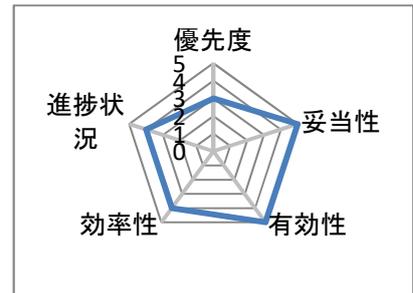
指標名1		空家等相談会の開催							
指標説明(式)		空家の所有者や相続人等を対象とした空家等相談会の開催							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	5	-	5	100.0	5	100.0	
	実績	0	0	-	5	-			
指標名2		空家の利活用の促進							
指標説明(式)		空き家バンク契約件数+空家活用支援事業件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	1	6	600.0	3	50.0			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	空家等対策事業により、老朽危険空家の除却を促進し管理不全空家の解消を図る。また、優良な空家の利活用を進める等により、市民の安全・安心を確保すると共に、地域の活性化を図る。	5
	成果の向上	空家が増加し苦情相談も増える中、状況把握や所有者への指導を適切に行い状況の改善が進んでいる。また、空き家バンクを通じての売買や空家活用支援事業の実績も出ており、事業の成果は向上している。	
効率性	手段の最適性	空家相談会等による情報の提供空き家バンクの運営、空家活用支援事業、老朽危険空家除却支援事業等を行い、空家の課題に対し効果的に対応が進められている。	4
	執行体制の効率性	兵庫県、弁護士会、不動産鑑定士協会等各種関係団体と連携し、相互に情報提供を行い、効果的・効率的な事業運営ができています。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	相生市空家等対策計画に基づき、情報の提供や必要な支援(空家活用支援事業、老朽危険空家除却支援事業、空家相談等)を行い、空家等対策の推進が図られている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	空家問題は、所有者個人や地域だけでは解決できない問題であり、市が対策し支援することで状況の改善が図られている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	県や各種専門家となる関係団体との連携を深め、空家等対策を進める。県や団体が開催する空家相談会等の広報を促進し所有者等の参加を促す。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101031000		事業の種類	4		
年度	30	事務事業名	住宅耐震改修促進事業		予算事業名	住宅耐震改修促進事業 優先度 3		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	寺田 大輔		担当者名	名倉 禎庸
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	住宅						
	意図(どのような状態にしたいのか)	地震に対する安全性の向上を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		耐震診断を実施した住宅に対する、耐震改修工事費等を助成する。 平成28年度まで県事業の上乗せ補助のみであったが、平成29年度より県事業から市の事業へ移管された。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	申請件数	件	1	1	1	9	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.192	0.100	52	0.320	320	0.220	69	
	臨時職員		0.140	-		0		-	
支出内訳	人件費	1,795,146	1,511,672	84	2,748,620	182	2,064,384	75	
	事業費		500,000	-	1,400,000	280	5,700,000	407	
	合計	1,795,146	2,011,672	112	4,148,620	206	7,764,384	187	
財源内訳	国庫支出金	100,000	250,000	250	700,000	280	2,850,000	407	
	県支出金		125,000	-	600,000	480	2,300,000	383	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,695,146	1,636,672	97	2,848,620	174	2,614,384	92	
合計	1,795,146	2,011,672	112	4,148,620	206	7,764,384	187		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		改修工事申込件数							
指標説明(式)		改修工事申込件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	3	9	300.0	9	100.0	9	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

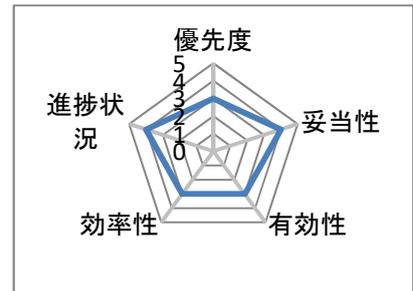
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	耐震改修工事を行い、地震に対する安全性を確保してもらう	3
効率性	手段の最適性	国、県、市が耐震改修工事費等の助成を行い、住宅の耐震化の向上を図る。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	処理件数により、コストが増減する



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	作業能率の向上によりコスト縮減を図る。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040200		事業の種類	2		
年度	30	事務事業名	再開発住宅管理事業		予算事業名	再開発住宅管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する			担当課長	團	担当者名	今井
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		再開発住宅管理事業			再開発住宅管理事業			
根拠法規及び関連法規		相生駅南再開発住宅条例・相生駅南再開発住宅条例施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者						
	誰(何)を対象として	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者のために、生活する住居を提供し、その住居を維持管理する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生駅南土地区画整理事業施行に伴い、住宅に困窮することとなった区域内の居住者のために建築した相生駅南再開発住宅において、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	再住維持管理費	千円	3273	2211	1186	2330	
	再住家賃収入	千円	17959	17340	15669	15105	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.080	0.120	150	0.120	100	0.120	100	
	臨時職員	0.060	0.200	333	0.220	110	0.240	109	
支出内訳	人件費	1,107,646	1,824,072	165	1,871,000	103	1,967,684	105	
	事業費	3,272,624	2,210,671	68	2,075,257	94	2,330,000	112	
	合計	4,380,270	4,034,743	92	3,946,257	98	4,297,684	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	4,380,270	4,034,743	92	3,946,257	98	4,297,684	109	
	一般財源	0	0	-	0	-	0	-	
合計	4,380,270	4,034,743	92	3,946,257	98	4,297,684	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		再開発住宅入居率							
指標説明(式)		入居戸数(各年度末) / 全戸数 × 100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	87	87	100.0	80	92.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

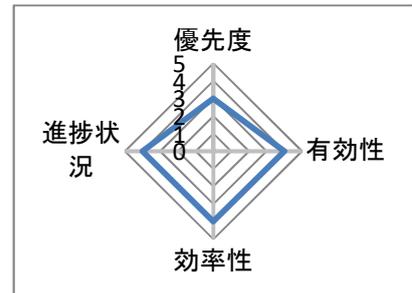
指標名1		再開発住宅収益率							
指標説明(式)		再住家賃収入／再住維持管理費×100 (100%以上が健全経営とする)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	500	500	100.0	600	120.0	600	100.0	
	実績	549	784	142.8	1321	168.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	入居者が退去した後の空部屋を有効利用するため、公募による一般入居を行い、入居者の増加を図った。	4
効率性	コストの節減	施設の修繕が増加傾向にある中、緊急性等を考慮しながら費用の平準化に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	建物の老朽化に伴い維持管理経費が増加傾向にある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	維持管理経費については、限られた予算の中で優先度を見極めながら対応する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040300	事業の種類	2
年度	30	事務事業名	市営住宅維持管理事業	予算事業名	公営住宅維持管理事業 優先度
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	團
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		担当者名	今井
		実施計画への記載		有	主要事業の指定
		無			
実施計画事業名		公営住宅整備事業		公営住宅管理事業	
根拠法規及び関連法規		公営住宅法、公営住宅法施行令、公営住宅法施行規則 相生市営住宅条例、相生市営住宅条例施行規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に住所地又は勤務地を有する者			
	誰(何)を対象として	住宅に困窮する低額所得者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	低廉な家賃を提供することにより、低額所得者にとって今までの高額家賃から開放され、生活にゆとりが生まれてくる。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃でもって健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を提供するため、これを整備するとともに、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	募集戸数	戸	12	18	11	12
	応募者数	人	1	0	3	5
	入居戸数(年度末時)	戸	117	112	114	117

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.448	0.168	38	0.168	100	0.168	100	
	臨時職員	0.184	0.240	130	0.260	108	0.280	108	
支出内訳	人件費	4,203,794	2,299,896	55	2,338,592	102	2,459,524	105	
	事業費	4,325,831	3,141,815	73	4,138,505	132	28,072,000	678	
	合計	8,529,625	5,441,711	64	6,477,097	119	30,531,524	471	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	8,529,625	5,441,711	64	6,477,097	119	14,248,000	220	
	一般財源	0	0	-	0	-	16,283,524	-	
合計	8,529,625	5,441,711	64	6,477,097	119	30,531,524	471		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		応募倍率							
指標説明(式)		応募者数/募集戸数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	0.08	0	0.0	0.27	-			
指標名2		市営住宅入居率							
指標説明(式)		入居戸数(各年度末)/管理戸数(151戸)×100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	77	74	96.1	75	101.4			

【効率性】

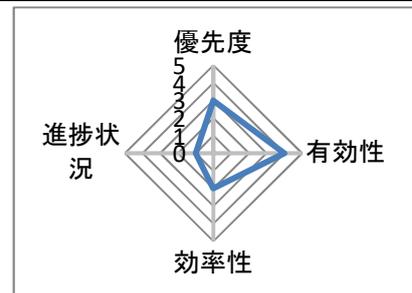
指標名1		市営住宅1戸当たりの維持修繕費							
指標説明(式)		維持修繕費／管理戸数(151戸)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	59603	46357	77.8	39735	85.7		0.0	
	実績	24810	16406	66.1	23658	144.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	退去した住宅の修繕を早急に行い、応募者一人当たりの住宅供給度を上げる。	4
	市民サービス	低所得者層への住宅供給を図っているが、老朽化に伴い入居率が減少傾向。	
効率性	コストの節減	老朽化により修繕費が増加傾向。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	財政的に建替え等が困難であり、長寿命化計画に基づく計画的な修繕が必要。	1

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	長寿命化計画の見直しが必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	長寿命化計画の見直しに向け、住宅管理の方向性を検討する。

配点	25
総合評価	13

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	050101040400	事業の種類	2
年度	30	事務事業名	コミュニティ住宅管理事業
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち	予算事業名	コミュニティ住宅管理事業
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する	優先度	3
取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る	担当部局名	建設農林部建設管理課
		担当課長	團
		担当者名	今井
実施計画事業名	コミュニティ住宅管理事業	実施計画への記載	有
		主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規	コミュニティ住宅条例・コミュニティ住宅条例施行規則		
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者	
	誰(何)を対象として	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者	
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者のために、生活する住居を提供し、その住居を維持管理する。	

2 事業の概要 Do

実施の概要	那波丘の台住環境整備事業及び土地区画整理事業施行に伴い、住宅に困窮することとなった区域内の居住者のために建築した那波丘の台コミュニティ住宅において、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	コミュニティ住維持管理費	千円	5412	3122	3388	3020
	コミュニティ住家賃収入	千円	26579	27164	25587	25281

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.152	0.120	79	0.120	100	0.120	100	
	臨時職員	0.064	0.120	188	0.140	117	0.160	114	
支出内訳	人件費	1,660,594	1,613,352	97	1,649,480	102	1,738,084	105	
	事業費	5,412,049	3,121,593	58	5,050,709	162	4,700,000	93	
	合計	7,072,643	4,734,945	67	6,700,189	142	6,438,084	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	7,072,643	4,734,945	67	6,700,189	142	6,438,084	96	
	一般財源	0	0	-	0	-	0	-	
合計	7,072,643	4,734,945	67	6,700,189	142	6,438,084	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	コミュニティ住宅入居率								
指標説明(式)	入居戸数(各年度末) / 全58戸 × 100 目標率: H27=97% H28=98%								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98	98	100.0	93	94.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

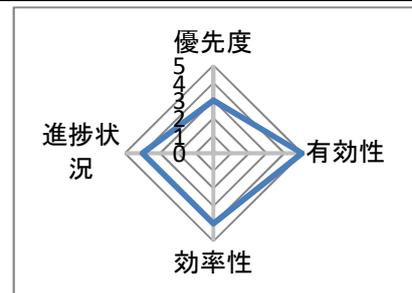
指標名1		コミュニティ住宅収益率							
指標説明(式)		コミュニティ住宅家賃収入/コミュニティ住宅維持管理費×100 (100%以上が健全経営とする)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	500	500	100.0	500	100.0		0.0	
	実績	491	870	177.2	755	86.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業入居者が退去した後の空部屋を有効利用するために、公募による一般入居を行い、入居者の増加を図った。	5
効率性	コストの節減	設備の修繕が増加傾向にある中、緊急性を考慮しながら経費の平準化に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化に伴い維持管理経費が増加傾向にある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	維持管理経費については、限られた予算の中で、優先順位を見極めながら対応する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040500		事業の種類	4		
年度	30	事務事業名	若者定住促進奨励金支給事業		予算事業名	若者定住促進奨励金支給事業 優先度		-
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	團	担当者名	今井	
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市若者定住促進奨励金交付要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	自己が居住する住宅を取得した40歳未満の若者						
	誰(何)を対象として	若者定住促進奨励金の支出						
	意図(どのような状態にしたいのか)	若者の住宅取得を容易にし、若者世帯の定住を促進する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者に、月1万円の奨励金を60ヶ月間交付(但し、毎年度ごとに交付申請と請求を行い、1年度分を、翌年度4月に振り込みとする。 <平成30年度を持って事業完了>					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	交付決定件数	件	193	145	78	0	
	〃 (新規分)	件					
	〃 (継続分)	件	193	145	78	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.084	0.120	143	0.120	100	0.020	17	
	臨時職員	0.500	0.120	24	0.120	100		0	
支出内訳	人件費	2,284,866	1,613,352	71	1,594,100	99	493,384	31	
	事業費	20,330,000	14,540,000	72	7,520,000	52		0	
	合計	22,614,866	16,153,352	71	9,114,100	56	493,384	5	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	22,614,866	16,153,352	71	9,114,100	56	493,384	5	
合計	22,614,866	16,153,352	71	9,114,100	56	493,384	5		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

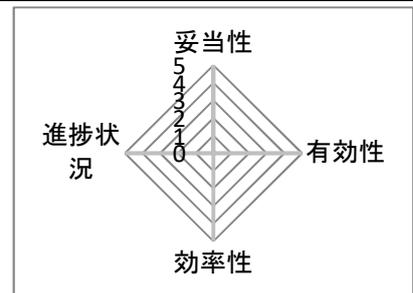
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040600		事業の種類	4	
年度	30	事務事業名	転入者住宅取得奨励金交付事業		予算事業名		
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	團	担当者名	今井	
取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		転入者住宅取得奨励金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市外から転入して市内に住宅を新築又は購入した者					
	誰(何)を対象として	転入者住宅取得奨励金の支出					
	意図(どのような状態にしたいのか)	転入及び定住の促進を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者に30万円(満18歳以下の世帯員がいる場合は、1人につき5万円を加算する)の奨励金を交付する。総額は50万円を限度とする。<事業完了済>				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	交付決定件数	件				

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	348,426	371,112	107	369,740	100	336,284	91	
	事業費			-		-		-	
	合計	348,426	371,112	107	369,740	100	336,284	91	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	348,426	371,112	107	369,740	100	336,284	91	
合計	348,426	371,112	107	369,740	100	336,284	91		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040800		事業の種類	2		
年度	30	事務事業名	定住促進住宅管理事業		予算事業名	定住促進住宅管理事業 優先度		4
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	團		担当者名	今井
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名		佐方定住促進住宅管理事業			佐方定住促進住宅管理事業			
根拠法規及び関連法規		定住促進住宅条例・定住促進住宅条例施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に定住するために住宅が必要な者						
	誰(何)を対象として	市内に定住するために住宅が必要な者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内に定住するために住宅が必要な者に生活する住居を提供し、その住居を維持管理する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内への定住を促進するために独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構より取得した定住促進住宅において、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	定住維持管理費	千円	1782	1710	1005	1846
	定住家賃収入	千円	12279	12768	11835	10719

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.084	0.140	167	0.140	100	0.140	100	
	臨時職員	0.064	0.120	188	0.140	117	0.160	114	
支出内訳	人件費	1,148,214	1,767,712	154	1,798,160	102	1,895,184	105	
	事業費	1,781,920	1,709,686	96	1,414,476	83	1,846,000	131	
	合計	2,930,134	3,477,398	119	3,212,636	92	3,741,184	116	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	2,930,134	3,477,398	119		0		-	
	一般財源	0	0	-	3,212,636	-	3,741,184	116	
合計	2,930,134	3,477,398	119	3,212,636	92	3,741,184	116		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		定住促進住宅入居率							
指標説明(式)		入居戸数(各年度末) / 全戸数 × 100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	69	67	97.1	64	95.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

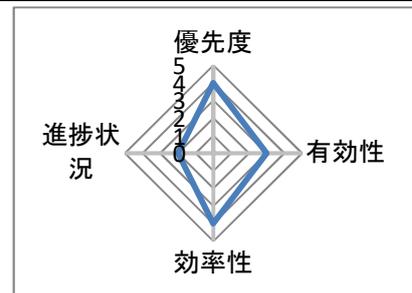
指標名1		定住促進住宅収益率							
指標説明(式)		定住促進住宅家賃収入／定住促進住宅維持管理費×100(100%以上が健全経営とする)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0		0.0	
	実績	689	747	108.4	1178	157.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	入居者の増加を図るため、随時、公募による募集を行っているが、入居率が7割未満と他住宅より低い状況にある。	3
	市民サービス	定住促進住宅の入居率が低い要因として、4階建でありながらエレベーターが無い点が挙げられる。このため、今後、有効活用を図る方策(大規模改修と合わせてのエレベーターの設置や高層階の家賃引下等)の検討が必要。	
効率性	コストの節減	設備の修繕が増加傾向にある中、緊急性を考慮しながら経費の平準化に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	入居率低下の解消策の検討が必要。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	入居率低下の解消策の検討。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	維持管理経費については、限られた予算の中で、優先順位を見極めながら対応する。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101041000	事業の種類	9
年度	30	事務事業名	宅地供給促進助成金交付事業	予算事業名	宅地供給促進助成金交付事業 優先度
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部定住促進室
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	松尾 次郎
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		担当者名	北條 麻梨香
実施計画事業名				実施計画への記載 主要事業の指定	
根拠法規及び関連法規		相生市宅地供給促進助成金交付要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市街化区域内に農地を所有し、住宅分譲地整備のために売却した個人			
	誰(何)を対象として	市街化区域内に農地を所有し、住宅分譲地整備のために売却した個人			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市街化区域内の土地の利活用を促進し、宅地供給の増加を図る			

2 事業の概要 Do

実施の概要		市街化区域内に所有する面積500平方メートル以上の農地等を3区画以上の住宅分譲地整備を行うために売却した個人に対し、1契約ごとに譲渡価額から取得費及び譲渡費用、特別控除額を差し引いた譲渡所得金額の3%を助成する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	宅地供給促進助成金交付決定件数	件	1	3	1	-

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.028	-	0.029	104	
	参事以下職員			-	0.024	-		0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	548,156	-	336,284	61	
	事業費			-	728,100	-		0	
	合計			-	1,276,256	-	336,284	26	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	1,276,256	-	336,284	26	
	合計			-	1,276,256	-	336,284	26	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

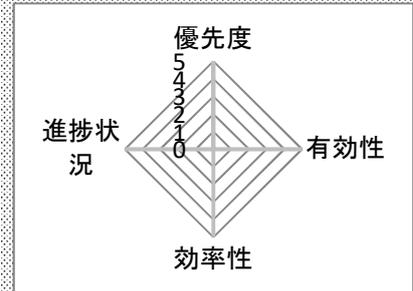
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101041100		事業の種類	4	
年度	30	事務事業名	相生市空き家バンク事業		予算事業名	優先度 4	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	松本 秀文	担当者名	志水 弘樹
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市空き家情報登録制度「空き家バンク」設置要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に空き家を所有する者及び市内の空き家の利用を希望する者					
	誰(何)を対象として	市内に空き家を所有する者及び市内の空き家の利用を希望する者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内の空き家を利活用し、定住を促進する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内における空き家等の有効活用を通じて、都市間の交流拡大及び定住促進による地域の活性化を図る。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	登録物件数	件	5	4	3	5	
	成約件数	件	1	5	3	5	
	利用者登録件数	件	6	6	6	10	
	市内空き家件数	件	789	816	985	1000	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.068	0.072	106	0.072	100	0.072	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	860,806	926,808	108	904,988	98	901,844	100	
	事業費			-		-		-	
	合計	860,806	926,808	108	904,988	98	901,844	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	860,806	926,808	108	904,988	98	901,844	100	
合計	860,806	926,808	108	904,988	98	901,844	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		物件登録件数のうちの成約件数の割合							
指標説明(式)		成約件数÷物件登録件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	30	30	100.0	30	100.0	30	100.0	
	実績	20	125	625.0	100	80.0			
指標名2		ホームページアクセス数							
指標説明(式)		相生市空き家バンクのホームページへのアクセス件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1,200	1200	100.0	1500	125.0	1500	100.0	
	実績	2451	1535	62.6	2662	173.4			

【効率性】

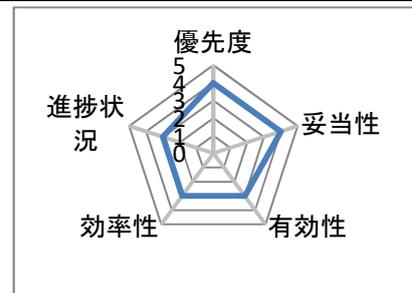
指標名1		登録事業者件数							
指標説明(式)		空き家バンク事業の取引を仲介する登録事業者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
社	目標	10	10	100.0	11	110.0	11	100.0	
	実績	10	11	110.0	11	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	登録物件は増加傾向であるが、成約数は伸びていない。	3
	市民サービス	ホームページやチラシを活用し、物件所有者及び利用希望者への情報提供ができています。	
効率性	手段の最適性	兵庫県宅地建物取引業協会西播磨支部と協定を結び、登録事業者と連携することが事業を進める上で利用者の安心も確保でき、最適な手段である。	3
	執行体制の効率性	兵庫県宅地建物取引業協会西播磨支部を通して、各登録事業者への通知、依頼等について効率的に行われている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	制度は浸透してきているものの、登録可能な物件が少ない。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	制度は浸透してきているものの、登録可能な物件が少ない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	相続前の空き家について宅建協会と連携し空き家バンクに登録できるよう相談会等を行う

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102010100	事業の種類	1		
年度	30	事務事業名	安室ダム水道用水供給事業	予算事業名	安室ダム水道用水供給事業 優先度	3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	池内 義明
取組み事項		上水道の安定供給と安全強化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	安室ダム水道用水供給企業団					
	意図(どのような状態にしたいのか)	将来、高度化する地域住民の生活水準及び宅地開発等により都市用水の急速な需要の増加となったときのための安定供給及び洪水調節等の治水対策。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		将来の宅地開発等により都市用水の急速な需要の増加への安定供給及び洪水調節等の治水対策のために建設された安室ダム事業					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	議会	回	2	2	2	2	
	担当者会議	回	2	2	2	2	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.016	100	0.016	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	468,986	494,600	105	488,684	99	461,964	95	
	事業費	50,932,000	44,881,000	88	36,884,000	82	29,278,000	79	
	合計	51,400,986	45,375,600	88	37,372,684	82	29,739,964	80	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	51,400,986	45,375,600	88	37,372,684	82	29,739,964	80	
合計	51,400,986	45,375,600	88	37,372,684	82	29,739,964	80		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		安室ダム水源開発費							
指標説明(式)		安室ダム水源開発費経費							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	14,306	11,486	80.3	8,106	70.6	4,194	51.7	
	実績	14,306	11,486	80.3	8,106	70.6			
指標名2		安室ダム水道用水供給量							
指標説明(式)		水道用水供給量							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
m ³	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

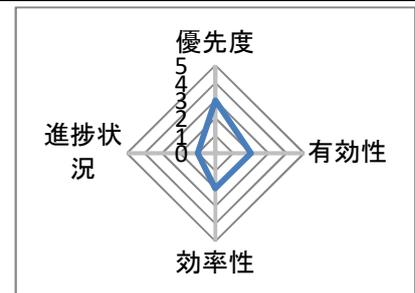
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	将来的にもダムを保有する限り、機器更新及び躯体改修等への対応が必要である。	2
	関係(根拠)法令等から見た効果	義務的経費であり、予定どおり償還する以外ない。	
効率性	執行体制の効率性	事務については、相生市・赤穂市・上郡町で構成する安室ダム水道用水供給企業団事務局が行っており効率的である。	2
	コストの節減	償還額が減少したことによる減であり、根本的には変わっていない。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水需要が見込まれない状況下であり、供用開始されておらず、予定もない。	1

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	水需要が見込まれないなかで、償還のみが残った状況である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	新たな費用負担が発生しないように県と連携を図る。

配点	25
総合評価	11

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102010200		事業の種類	3	
年度	30	事務事業名	西播磨水道企業団連絡調整事業		予算事業名	西播磨水道企業団事業 優先度 3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	池内 義明
取組み事項		上水道の安定供給と安全強化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	西播磨水道企業団					
	意図(どのような状態にしたいのか)	西播磨水道企業団事業からの給水を受け、清浄な水を安定供給する。市民への水道用水を供給する企業団と市との連絡調整を行うため必要。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		西播磨水道企業団との連絡調整を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	有収水量	m3	3,964,761	3,855,558	3,679,639	4,000,000
	給水人口	人	30,209	29,972	29,526	30,000

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.012	0.012	100	0.012	100	0.012	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	438,846	463,728	106	458,948	99	430,544	94	
	事業費	1,143,000	1,130,000	99	1,147,000	102	1,057,000	92	
	合計	1,581,846	1,593,728	101	1,605,948	101	1,487,544	93	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,581,846	1,593,728	101	1,605,948	101	1,487,544	93	
合計	1,581,846	1,593,728	101	1,605,948	101	1,487,544	93		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水道議会開催数							
指標説明(式)		水道議会(定例会及び臨時)の開催数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標	3	3	100.0	3	100.0		0.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2		有収水量							
指標説明(式)		水道料金徴収の対象となった水量							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
m3	目標	4,000,000	4,000,000	100.0	4,000,000	100.0	4,000,000	100.0	
	実績	3,964,761	3,855,558	97.2	3,679,639	95.4			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

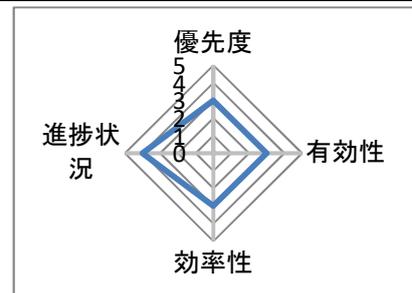
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	水質管理された水が安定して供給されている。	3
効率性	執行体制の効率性	西播磨水道企業団(たつの市との広域)との連絡調整であり、効率的に実施できている。	3
	コストの節減	臨時的な負担金等の発生がなかったため、例年並みの歳出規模となっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	上水道事業としては、広域運営において順調に進んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	現状の連絡調整の事務としては、特に課題はない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	例年どおり効率的に実行する。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102020100		事業の種類	6		
年度	30	事務事業名	下水道整備事業		予算事業名	下水道整備事業 優先度 5		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	團 剛		担当者名	松本 好弘
取組み事項		公共下水道施設の整備を進める		実施計画への記載	有		主要事業の指定	有
実施計画事業名		公共下水道整備事業						
根拠法規及び関連法規		都市計画法・下水道法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民						
	誰(何)を対象として	受益を受ける市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	下水道普及率を100%にする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		公共下水道の未整備地の整備を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	整備延長(汚水)	m	0	0	77	62
	公共樹設置	箇所	34	24	28	30
	整備延長(雨水)	m	229	170	414.14	500

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.404	0.396	98	0.396	100	0.396	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,392,566	3,427,440	101	3,313,604	97	3,446,864	104	
	事業費	199,483,448	146,658,959	74	146,206,082	100	87,510,000	60	
	合計	202,876,014	150,086,399	74	149,519,686	100	90,956,864	61	
財源内訳	国庫支出金	90,165,000	69,058,000	77	65,839,000	95	39,000,000	59	
	県支出金			-		-		-	
	市債	81,100,000	58,800,000	73	59,200,000	101	31,500,000	53	
	その他	728,000	1,283,100	176	864,500	67	6,563,000	759	
	一般財源	30,883,014	20,945,299	68	23,616,186	113	13,893,864	59	
合計	202,876,014	150,086,399	74	149,519,686	100	90,956,864	61		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		普及率							
指標説明(式)		公共下水道区域の人口普及率							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
全体進捗率	目標	99.9	99.9	100.0	99.9	100.0	99.9	100.0	
	実績	99.9	99.9	100.0	99.9	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

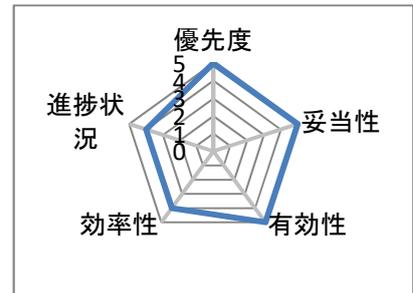
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	污水管の整備はほぼ終焉を迎えているが、浸水対策としての雨水管の整備が急務となっている。	5
効率性	コストの節減	污水整備は計画区域内で、住宅等が無く、整備する必要の無い区域は工事を先送りし、経費の節減を図り、雨水整備は新技術、新工法を採用しコストの節減を図っている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	污水整備は事業計画に対して人口比ではほぼ終焉を迎えているが、浸水対策としての雨水管の整備が急務となっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	未整備区域の計画把握と経費の削減を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	情報収集と整備工法の低コスト型を検討する。

配点	32.5
総合評価	30.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	0501020200	事業の種類	7
年度	30	事務事業名	下水道施設長寿命化事業	予算事業名	下水道施設長寿命化事業 優先度 4
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	團 剛
取組み事項		公共下水道施設の整備を進める		実施計画への記載	有
実施計画事業名				担当者名	松本 好弘
実施計画事業名				主要事業の指定	有
根拠法規及び関連法規		都市計画法・下水道法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民			
	誰(何)を対象として	受益を受ける市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	下水処理施設の長寿命化計画を策定し、改築更新により、施設の延命化を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生下水管理センターの長寿命化計画策定及び改築更新工事を実施する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	機能診断	式				
	長寿命化計画策定	式				
	実施設計	式				
	電気・機械設備改築更新	式	1	1	1	1

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.232	0.232	100	0.232	100	0.232	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,096,546	2,161,688	103	2,094,428	97	2,158,644	103	
	事業費	329,098,672	301,990,560	92	338,655,340	112	410,524,000	121	
	合計	331,195,218	304,152,248	92	340,749,768	112	412,682,644	121	
財源内訳	国庫支出金	177,700,000	158,740,000	89	182,221,000	115	221,550,000	122	
	県支出金			-		-		-	
	市債	132,900,000	114,200,000	86	125,100,000	110	163,600,000	131	
	その他			-		-		-	
	一般財源	20,595,218	31,212,248	152	33,428,768	107	27,532,644	82	
合計	331,195,218	304,152,248	92	340,749,768	112	412,682,644	121		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		契約							
指標説明(式)		日本下水道事業団に委託し、事業を実施する。							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
契約	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

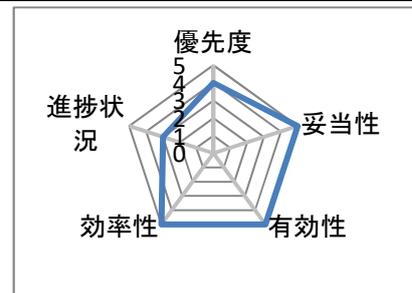
指標名1		事業費							
指標説明(式)		交付金対象事業として実施することにより、コスト節減を図る。							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
交付金	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	事業に精通している日本下水道事業団に委託することにより、相生水管理センターの改築更新事業に着手することができた。	5
効率性	コストの節減	長寿命化計画を策定し、計画的に事業を実施することで、コストの節減を図り、交付金の対象となる。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	社会資本整備総合交付金の交付額に合わせ事業を実施しているが当初計画より交付金が減少し計画通りに事業が進まない。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	社会資本整備総合交付金の交付額に合わせて事業実施しているが、当初計画より交付金額が減少し、計画通りに事業が進まない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	社会資本整備総合交付金の交付額に合わせ、緊急性の高いものから順次整備を行う。

配点	32.5
総合評価	28.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102030100	事業の種類	7
年度	30	事務事業名	農業集落排水施設改築更新事業	予算事業名	農業集落排水施設改築更新事業 優先度 3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名 建設農林部建設管理課	
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	團 剛
取組み事項		農業集落排水施設などの整備を進める		実施計画への記載	有
実施計画事業名				主要事業の指定	有
根拠法規及び関連法規		土地改良法・相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水施設の設置並びに管理に関する条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民			
	誰(何)を対象として	参加市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業集落排水施設の機能診断を行い最適整備構想を作成し、機能強化等により施設の延命化を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水施設の最適整備構想の作成及び機能強化工事の実施する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	機能診断	式				
	最適整備構想	式				
	機能強化工事計画策定	式				
	機能強化工事	式	1	1	1	1

3 投入資源

		会計区分 農集特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.224	0.232	104	0.232	100	0.232	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,036,266	2,161,688	106	2,094,428	97	2,158,644	103	
	事業費	35,654,840	38,535,120	108	58,080,960	151	58,027,000	100	
	合計	37,691,106	40,696,808	108	60,175,388	148	60,185,644	100	
財源内訳	国庫支出金	17,500,000	19,258,560	110	29,000,000	151	29,000,000	100	
	県支出金			-		-		-	
	市債	15,700,000	17,300,000	110	26,100,000	151	26,100,000	100	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,491,106	4,138,248	92	5,075,388	123	5,085,644	100	
合計	37,691,106	40,696,808	108	60,175,388	148	60,185,644	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		契約							
指標説明(式)		兵庫県土地改良事業団体連合会に委託し、事業を実施する。							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
契約	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

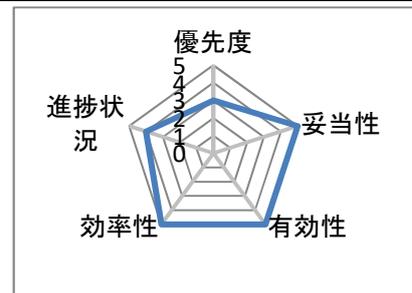
指標名1		事業費							
指標説明(式)		農山漁村地域整備交付金事業として実施することにより、コスト節減を図る。							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
交付金	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	事業に精通している兵庫県土地改良事業団体連合会に委託することにより、農業集落排水施設の改築更新事業に着手することができた。	5
効率性	コストの節減	最適整備構想を策定し、計画的に事業を実施することで、コストの節減を図り交付金の対象となる。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	農山漁村地域整備交付金の交付額に合わせ事業を実施しているが、当初計画より交付金が減少し計画通りに事業が進まない。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	農山漁村地域整備交付金の交付額に合わせて事業実施しているが、当初計画より交付金額が減少し、計画通りに事業が進まない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	農山漁村地域整備交付金の交付額に合わせ、緊急性の高いものから順次整備を行う。

配点	32.5
総合評価	27.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102030200		事業の種類	6		
年度	30	事務事業名	農業集落排水整備事業		予算事業名	農業集落排水整備事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る			担当課長	團 剛	担当者名	松本 好弘
取組み事項		農業集落排水施設などの整備を進める			実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		農業集落排水整備事業						
根拠法規及び関連法規		相生市戸別合併処理浄化槽の設置及び管理に関する条例 相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水処理施設並びに管理に関する条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	公共下水道区域以外の市民						
	誰(何)を対象として	公共下水道区域以外の市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	早期に100%生活排水の水洗化整備を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水等に新規加入する住宅等に公共枿を設置する。 未整備地で、下水管渠築造工事に多大な費用を要する住宅等に、戸別合併処理浄化槽を設置する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	戸別合併浄化槽設置	件	1	2	0	1
	新規加入公共枿設置	件	0	1	1	2

3 投入資源

会計区分		農集特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.196	0.204	104	0.204	100	0.204	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,825,286	1,945,584	107	1,886,276	97	1,938,704	103	
	事業費	2,523,960	9,137,880	362	2,607,893	29	9,800,000	376	
	合計	4,349,246	11,083,464	255	4,494,169	41	11,738,704	261	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債		4,100,000	-		0		-	
	その他	480,000	3,510,000	731	150,000	4	1,750,000	1,167	
	一般財源	3,869,246	3,473,464	90	4,344,169	125	9,988,704	230	
合計	4,349,246	11,083,464	255	4,494,169	41	11,738,704	261		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

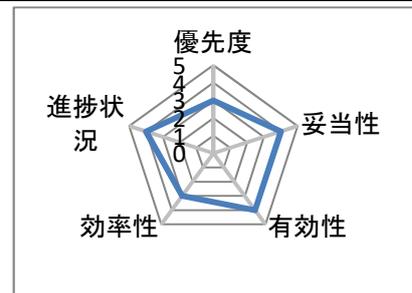
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	新規加入申請に対応しており、市民サービスにんでいる。	4
効率性	手段の最適性	公共柵の設置に関して、合理的な工法を選択している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業としては、完了している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	新規加入申請者に対し速やかに対応できる体制を整える。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	今年度は1件の新規加入があったが、今後も速やかに対応できる体制を維持する。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040100		事業の種類	1		
年度	30	事務事業名	下水道管理事業		予算事業名	下水道管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る			担当課長	團 剛	担当者名	松本 好弘
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		下水道法・相生市下水道条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民						
	誰(何)を対象として	受益を受ける市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活排水による汚濁負荷を低減し、公共水域の水質保全を図るため、総括管理を行う。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		施設台帳の整備等総括管理事務を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	下水道台帳整備	式	1	1		
	下水道調査報告	式	1	1		

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.312	0.312	100	0.312	100	0.312	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,699,346	2,779,128	103	2,689,148	97	2,787,044	104	
	事業費	26,830,858	37,536,116	140	34,509,417	92	36,140,000	105	
	合計	29,530,204	40,315,244	137	37,198,565	92	38,927,044	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	26,590,858	37,296,116	140	34,269,417	92	35,900,000	105	
	一般財源	2,939,346	3,019,128	103	2,929,148	97	3,027,044	103	
合計	29,530,204	40,315,244	137	37,198,565	92	38,927,044	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

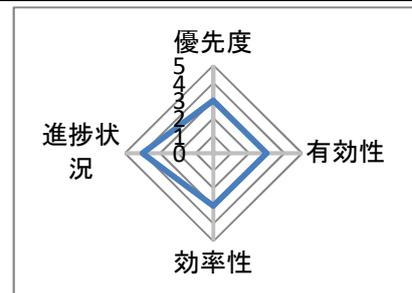
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	常に最新の状態で下水道台帳を整備することができる。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令にそった成果が概ね得られた。	
効率性	手段の最適性	専門業者に委託することにより効率が図られている。	3
	執行体制の効率性	速やかな対応が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	下水整備に合わせて、進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	下水道台帳と現地に差異があるところがある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	下水道台帳の精査が必要である。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040200	事業の種類	1
年度	30	事務事業名	賦課徴収事業(下水)	予算事業名	賦課徴収事業
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課	
施策名(中)	上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	團 剛	担当者名
取組み事項	公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	下水道法・都市計画法・相生市下水道条例・相生市下水道事業受益者負担金条例				
事業の目的	誰のために(具体的に)	公共下水道事業受益者			
	誰(何)を対象として	公共下水道事業受益者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	条例に則り、公共下水道受益者から使用料及び負担金の応分の費用を徴収する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	使用料徴収事務委託により、経費の節減を図る。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	下水道使用料徴収	式	1	1	1	1
	受益者負担金徴収	式	1	1	1	1

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.288	0.288	100	0.288	100	0.288	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,518,506	2,593,896	103	2,510,732	97	2,598,524	103	
	事業費	25,163,705	25,350,750	101	25,273,269	100	26,067,000	103	
	合計	27,682,211	27,944,646	101	27,784,001	99	28,665,524	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	25,163,705	25,350,750	101	25,273,269	100	26,067,000	103	
	一般財源	2,518,506	2,593,896	103	2,510,732	97	2,598,524	103	
合計	27,682,211	27,944,646	101	27,784,001	99	28,665,524	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		下水道使用料徴収件数							
指標説明(式)		徴収件数/徴収対象件数×100 (委託件数÷調定件数×100) ※ H30年度 68,827÷70,105×100=98.177%							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98.32	98.42	100.1	98.18	99.8			
指標名2		受益者負担金賦課件数(猶予取消し分含む)							
指標説明(式)		負担金徴収件数/負担金徴収対象件数×100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			

【効率性】

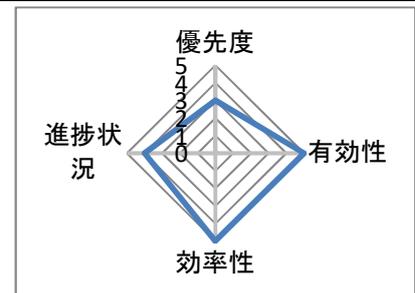
指標名1		下水道使用料徴収金額率							
指標説明(式)		徴収金額／徴収対象金額×100 (収納額÷調定額×100) ※ H30年度 445,842,067÷453,900,379×100=98.224%							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98.28	98.03	99.7	98.22	100.2			
指標名2		受益者負担金徴収金額率							
指標説明(式)		徴収金額／賦課金額×100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	使用料金徴収を西播磨水道企業団に委託することにより、上水道使用料と一括徴収することができ、徴収率の高率維持につながっている。	5
	成果の向上	下水道受益者負担金は、農業委員会と連携をとり、負担金徴収猶予となっている農地の宅地化の情報を基に、賦課徴収している。	
効率性	コストの節減	使用料金徴収を西播磨水道企業団に委託することにより、上水道使用料と一括徴収することができ、コストを節減している。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	徴収事業は目標に近い率を維持している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	無断転居による滞納者への対応(所在確認)について、苦慮している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	使用料金徴収の委託先である水道企業団と連携し、居住していた物件の管理者等に積極的に照会を行い、居所、連絡先等の把握に努める。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040300		事業の種類	1		
年度	30	事務事業名	排水設備管理事業(下水)		予算事業名	排水設備管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	團 剛	担当者名	松本 好弘	
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		下水道法・相生市下水道条例・相生市下水道排水設備指定工事店規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民						
	誰(何)を対象として	排水設備指定工事店						
	意図(どのような状態にしたいのか)	確認審査及び検査を行うことにより、施工の均一性及び見積の適正化を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		下水道排水設備指定工事店の指定を行い、排水設備工事の適正な施工を確保する。排水設備等の設置申請を確認し、排水設備等工事の完了検査を行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	確認検査	件	147	105	125	100	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.184	0.196	107	0.196	100	0.196	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,734,866	1,883,840	109	1,826,804	97	1,875,864	103	
	事業費	164,699	202,687	123	133,450	66	264,000	198	
	合計	1,899,565	2,086,527	110	1,960,254	94	2,139,864	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	164,699	202,687	123	133,450	66	264,000	198	
	一般財源	1,734,866	1,883,840	109	1,826,804	97	1,875,864	103	
合計	1,899,565	2,086,527	110	1,960,254	94	2,139,864	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		排水設備件数							
指標説明(式)		排水設備件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	147	105	71.4	125	119.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

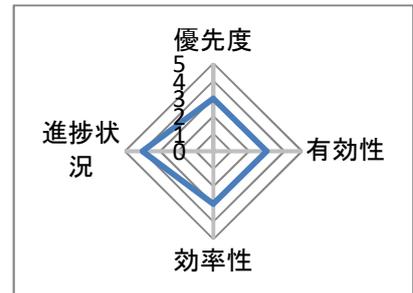
指標名1		排水設備確認審査・検査コスト							
指標説明(式)		当該年度支出額／排水設備確認審査・検査件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	19,083	20,435	107.1	20,414	99.9	21,399	104.8	
	実績	12,922	19,871	153.8	15,682	78.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	設備工事の品質向上がみられた。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	概ね基準どおり施工されている。	
効率性	コストの節減	概ね現状維持している。	3
	執行体制の効率性	概ね現状維持している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	施工管理に向上の余地がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	確認申請時及び完了検査時に指導を徹底する。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040400	事業の種類	2
年度	30	事務事業名	汚水処理施設維持管理事業	予算事業名	汚水処理施設維持管理事業 優先度
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	團 剛
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	松本 好弘
実施計画事業名				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		下水道法・相生市下水道条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	利用者			
	誰(何)を対象として	利用者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	汚水処理の維持管理を適正に行い、利用者が常に安心して下水道を使用できるようにする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		脱水汚泥等の処分及び下水管渠の清掃を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	汚泥処分	トン	2,050	1,951	1,838	2,140
	管渠清掃	m	9,110	8,145	15,876	10,000
	管渠調査	m	0	0	0	0

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.232	0.224	97	0.224	100	0.224	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,096,546	2,099,944	100	2,034,956	97	2,095,804	103	
	事業費	53,483,630	50,844,805	95	48,392,623	95	55,506,000	115	
	合計	55,580,176	52,944,749	95	50,427,579	95	57,601,804	114	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	53,483,630	50,844,805	95	48,392,623	95	55,506,000	115	
	一般財源	2,096,546	2,099,944	100	2,034,956	97	2,095,804	103	
合計	55,580,176	52,944,749	95	50,427,579	95	57,601,804	114		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		汚泥処分のリサイクル率							
指標説明(式)		リサイクル施設搬入汚泥量 / 発生汚泥量 × 100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

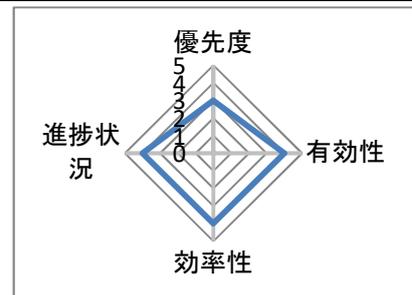
指標名1		脱水汚泥のセメント原料化施設への搬入率の向上							
指標説明(式)		汚泥のセメント原料化施設搬入量÷発生汚泥量×100 住友÷(住友+資源開発)×100 ※ H30年度 1,722.78÷(1,722.78+115.21)×100=							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	93.7	93.3	99.6	94.6	101.4	93.5	98.8	
	実績	90.1	94.3	104.7	93.7	99.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	脱水汚泥のリサイクル率100%を維持できている。	4
効率性	コストの節減	汚泥処分費の安価な施設であるセメント工場での処分ができている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	汚泥の有効活用を検討する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	現在、セメント原料化と堆肥化処分を行っているが、他の処分方法や汚泥受入れ可能業者について再考する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040500		事業の種類	2			
年度	30	事務事業名	雨水処理施設維持管理事業		予算事業名	雨水処理施設維持管理事業 優先度		4	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る			担当課長	團 剛		担当者名	松本 好弘
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		下水道法							
事業の目的	誰のために(具体的に)	住民							
	誰(何)を対象として	住民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水区域内の住居等を浸水から守る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		雨水ポンプ場の適正な維持管理を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	ポンプ場修繕工事	式	1	1	1	1
	し渣搬出業務委託	式	1	1	1	1

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.232	0.224	97	0.224	100	0.224	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,096,546	2,099,944	100	2,034,956	97	2,095,804	103	
	事業費	18,713,718	21,288,758	114	16,325,597	77	16,628,000	102	
	合計	20,810,264	23,388,702	112	18,360,553	79	18,723,804	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	20,810,264	23,388,702	112	18,360,553	79	18,723,804	102	
合計	20,810,264	23,388,702	112	18,360,553	79	18,723,804	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		浸水戸数							
指標説明(式)		排水区域内の浸水戸数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
戸	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

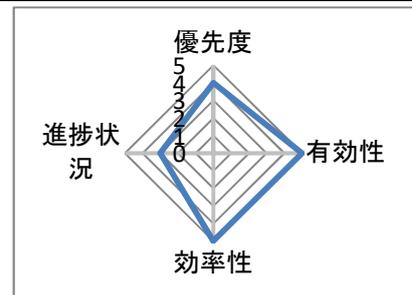
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	ポンプ場の機能により浸水被害を防ぐことができた。	5
効率性	手段の最適性	点検業務を適正に行うことにより、緊急時対応もできた。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	施設の長寿命化の検討が必要である。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	設備の老朽化に対する検討が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	「下水道施設長寿命化事業」と連動し、最も老朽化の進んでいる那波ポンプ場の実施設計の作成を予定している。

配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040600		事業の種類	1	
年度	30	事務事業名	下水道施設包括維持管理事業		予算事業名	下水道処理施設包括維持管理事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)	上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	團 剛	担当者名	松本 好弘	
取組み事項	公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名	公共下水道維持管理事業						
根拠法規及び関連法規	下水道法・相生市下水道条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	利用者及び市内企業					
	誰(何)を対象として	利用者及び市内企業					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生下水管理センターの運転及び維持管理事業を民間会社に委託し、コストの節減と、民間のノウハウを生かした水処理を適正に行った放流水により相生湾の水質を保全する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	相生下水管理センター及び汚水ポンプ場の運転・維持管理、修繕業務を行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	包括委託	式	1	1	1	1

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.160	0.152	95	0.152	100	0.152	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,554,026	1,544,248	99	1,499,708	97	1,530,244	102	
	事業費	243,313,200	249,177,600	102	248,637,600	100	250,613,000	101	
	合計	244,867,226	250,721,848	102	250,137,308	100	252,143,244	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	237,376,000	243,241,920	102	236,144,160	97	238,004,000	101	
	一般財源	7,491,226	7,479,928	100	13,993,148	187	14,139,244	101	
合計	244,867,226	250,721,848	102	250,137,308	100	252,143,244	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	放流水質基準達成率								
指標説明(式)	要求水準達成日数/365日×100								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

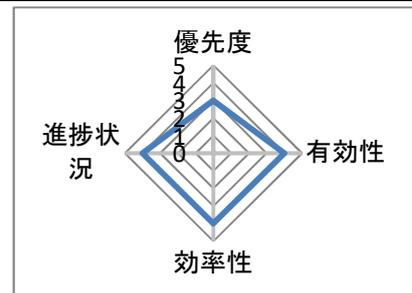
指標名1		電力量の節減							
指標説明(式)		各年度電力量/H21年度電力量(2,709,752kWh)×100 ※ H30年度 2,446,190÷2,709,752×100=90.27%							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	95	95	100.0	95	100.0	95	100.0	
	実績	89.7	90.8	101.2	90.3	99.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	民間企業のノウハウと不断の努力により、要求水準どおりの放流水となっている。	4
効率性	執行体制の効率性	民間企業に包括委託することによりコストの削減を図る。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	化学工場からの排水処理。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	化学工場・委託業者・市の三者協議が必要である。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040700		事業の種類	4	
年度	30	事務事業名	水洗化促進事業(下水)		予算事業名	水洗化促進事業	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	團 剛	担当者名	松本 好弘
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市水洗便所等改造資金貸付条例、相生市水洗便所等改造資金助成金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民					
	誰(何)を対象として	受益を受ける市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	環境衛生の向上を図るため、汲み取り便所の水洗化及び排水設備の設置を促進する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		水洗便所等改造資金貸付金により、水洗化を促進する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	改造資金貸付	件	0	1	0	1
	改造資金助成	件	0	0	0	1

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.244	0.244	100	0.244	100	0.244	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,186,966	2,254,304	103	2,183,636	97	2,252,904	103	
	事業費	0	350,064	-	128	0	2,001,000	1,563,281	
	合計	2,186,966	2,604,368	119	2,183,764	84	4,253,904	195	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他		80,827	-	128	0	494,000	385,938	
	一般財源	2,186,966	2,523,541	115	2,183,636	87	3,759,904	172	
合計	2,186,966	2,604,368	119	2,183,764	84	4,253,904	195		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		貸付件数							
指標説明(式)		貸付件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	0	1	-	0	0.0			
指標名2		助成件数							
指標説明(式)		助成件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

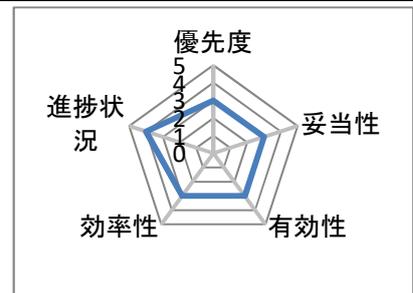
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	申請件数は予測以下であるが、制度の活用により水洗化が困難だった世帯へ早期の水洗化が可能となった。	3
	市民サービス	水洗化されることで周辺の住環境の改善や公共用水域の水質向上につながっている。	
効率性	執行体制の効率性	下水道接続により、周辺の住環境の改善による市民生活の向上や、使用料収入の確保による下水道経営の安定化など、多方面に良い効果を与えている	3
	執行体制の効率性	窓口で直接対面により本人確認の上受付処理をしており、公正さを確保している。また、口座振替による償還金の收受を行うことで効率性を向上させている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水洗化普及が進んだことで件数は減少しているが、貸付による支援を受けて水洗化を行いたいという需要に応える事業方針はおおむね満たしている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	未収金が発生している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	償還にあたっては、分割納付等、柔軟な対応が必要である。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040800		事業の種類	2			
年度	30	事務事業名	公営企業会計移行事業		予算事業名	公営企業会計移行事業 優先度		3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る			担当課長	團 剛		担当者名	松本 好弘
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る			実施計画への記載	有		主要事業の指定	無
実施計画事業名		公営企業会計移行事業							
根拠法規及び関連法規		地方公営企業法							
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市下水道事業							
	誰(何)を対象として	相生市下水道会計							
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市の下水道事業における経営の健全化及び財務状況の明確化を図る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		地方公営企業法を一部適用するにあたり必要な事務手続きの支援及び固定資産台帳の整備を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	基本計画書の作成	式	1			
	資産調査業務	式	1	1	1	1
	資産評価業務	式			1	1
	法適用以降支援業務	式			1	1

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.348	0.244	70	0.244	100	0.244	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,970,606	2,254,304	76	2,183,636	97	2,252,904	103	
	事業費		14,906,640	-	27,972,000	188	39,704,000	142	
	合計	2,970,606	17,160,944	578	30,155,636	176	41,956,904	139	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債		14,900,000	-	27,900,000	187	39,600,000	142	
	その他		6,640	-	72,000	1,084	0	0	
	一般財源	2,970,606	2,254,304	76	2,183,636	97	2,356,904	108	
合計	2,970,606	17,160,944	578	30,155,636	176	41,956,904	139		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

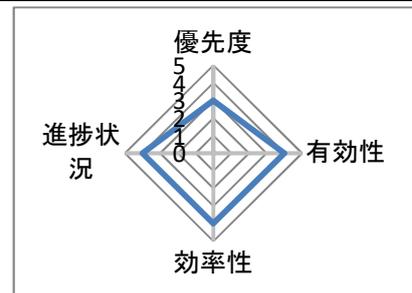
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	決算及び資産調査を行い、決算との調整を行い資産評価する必要がある。	4
効率性	手段の最適性	資料のない資産を評価する場合の資産評価方法を検討する必要がある。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	過去の工事は工事台帳・図面等、不備なものが多く、資産評価を行うための資産調査・把握に苦慮している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	移行業務委託業者との連携を密にし、最善の方法により資産評価や法整備を行う。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102050100		事業の種類	9	
年度	30	事務事業名	農業集落排水管理事業		予算事業名	農業集落排水管理事業 優先度	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	團 剛	担当者名	松本 好弘
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		土地改良法・相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水施設の設置並びに管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民					
	誰(何)を対象として	参加市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業集落排水処理施設等を適正に運営し、消費税申告を適正に行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水処理施設の総括管理事務及び公課費(消費税)に関する事務を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	施設総括事務	式	1	1	1	1
	消費税	式	1	1	1	1

3 投入資源

インプット指標		会計区分 農集特別会計			事業費単位:円				
		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.240	0.240	100	0.240	100	0.240	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,156,826	2,223,432	103	2,153,900	97	2,221,484	103	
	事業費	16,436,356	17,156,716	104	15,823,728	92	16,761,000	106	
	合計	18,593,182	19,380,148	104	17,977,628	93	18,982,484	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	16,436,356	447,575	3	850,642	190	4,000	0	
	一般財源	2,156,826	18,932,573	878	17,126,986	90	18,978,484	111	
合計	18,593,182	19,380,148	104	17,977,628	93	18,982,484	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

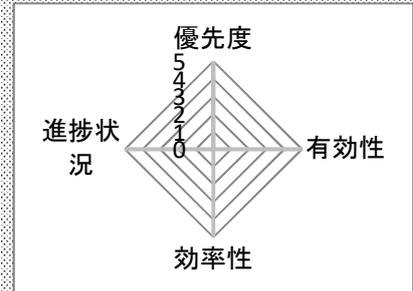
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度		
	関係(根拠)法令等から見た効果		
効率性	コストの節減		
	執行体制の効率性		
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102050200	事業の種類	1
年度	30	事務事業名	賦課徴収事業(農集)	予算事業名	賦課徴収事業
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	團 剛
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	松本 好弘
実施計画事業名				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水処理施設の設置並びに管理に関する条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業区域内の受益者			
	誰(何)を対象として	事業区域内の受益者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水処理施設使用料の徴収及び新規加入金を100%徴収する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		排除汚水量を認定し、排水処理施設使用料を徴収する。 新規加入者に対して、加入金を徴収する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	徴収事務	式	1	1	1	1
	新規加入	件	1	3	1	3

3 投入資源

会計区分		農集特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.168	0.168	100	0.168	100	0.168	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,614,306	1,667,736	103	1,618,652	97	1,655,924	102	
	事業費	3,455,714	3,436,253	99	3,416,425	99	3,521,000	103	
	合計	5,070,020	5,103,989	101	5,035,077	99	5,176,924	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	3,455,714	3,436,253	99	3,322,423	97	0	0	
	一般財源	1,614,306	1,667,736	103	1,712,654	103	5,176,924	302	
合計	5,070,020	5,103,989	101	5,035,077	99	5,176,924	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		排水処理施設使用料徴収件数							
指標説明(式)		徴収件数÷徴収対象件数×100 (委託件数÷調定件数×100) ※ H30年度 9,304÷9,443×100=98.528%							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98.46	98.59	100.1	98.53	99.9			
指標名2		排水処理施設使用料徴収金額							
指標説明(式)		徴収金額÷徴収対象金額×100 (収納額÷調定額×100) ※ H30年度 72,848,203÷73,584,502×100=98.999%							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	99.08	99.05	100.0	99.00	99.9			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

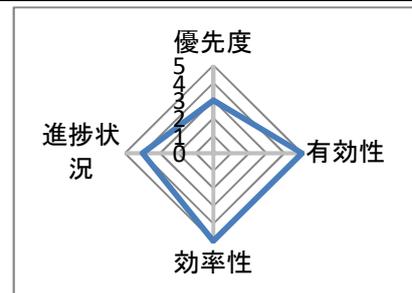
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	使用料徴収について西播磨水道企業団に徴収事務委託をすることにより、徴収率の高率維持につながっている。	5
効率性	コストの節減	使用料徴収について西播磨水道企業団に徴収事務委託をすることにより、上水道使用料と一括徴収することができ、コストを節減している。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	徴収事業は目標に近い率を維持している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	無断転居による滞納者への対応(所在確認)について、苦慮している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	使用料徴収の委託先である水道企業団と連携し、居住していた物件の管理者等に積極的に照会を行い、居所、連絡先等の把握に努める。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102050300		事業の種類	1	
年度	30	事務事業名	排水設備管理事業(農集)		予算事業名		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	團 剛	担当者名	松本 好弘
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		土地改良法・相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水施設の設置並びに管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民					
	誰(何)を対象として	排水設備指定工事店					
	意図(どのような状態にしたいのか)	確認審査及び検査を行うことにより、施工の均一性及び見積の適正化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		下水道排水設備指定工事店の指定を行い、排水設備工事の適正な施工を確保するため、排水設備等の設置申請を確認し、排水設備等工事の完了検査を行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	確認検査	件	7	6	6	20	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.124	0.124	100	0.124	100	0.124	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,282,766	1,328,144	104	1,291,556	97	1,310,304	101	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,282,766	1,328,144	104	1,291,556	97	1,310,304	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,282,766	1,328,144	104	1,291,556	97	1,310,304	101	
合計	1,282,766	1,328,144	104	1,291,556	97	1,310,304	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		排水設備件数							
指標説明(式)		排水設備件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	7	6	85.7	6	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

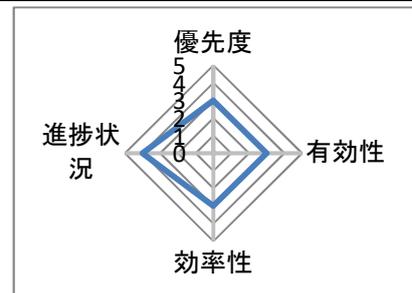
指標名1		排水設備確認審査・検査コスト							
指標説明(式)		当該年度支出額／排水設備確認審査・検査件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	64,542	65,530	101.5	66,365	101.3	65,515	98.7	
	実績	183,252	221,357	120.8	215,259	97.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	排水設備工事の品質向上がみられた。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	概ね基準どおり施工されている。	
効率性	コストの節減	概ね現状維持している。	3
	執行体制の効率性	概ね現状維持している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	施工管理に向上の余地がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	確認申請時及び完了検査時に指導を徹底する。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	050102050400	事業の種類	2
年度	30	事務事業名	農業集落排水施設維持管理事業
予算事業名	農業集落排水施設維持管理事業	優先度	3
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		
担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)	上・下水道の整備、維持を図る	担当課長	團 剛
担当者名	松本 好弘		
取組み事項	農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る	実施計画への記載	有
主要事業の指定	有		
実施計画事業名	農業集落排水維持管理事業		
根拠法規及び関連法規	土地改良法・相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水処理施設の設置並びに管理に関する条例		
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民	
	誰(何)を対象として	参加市民	
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業集落排水施設等を適正に維持管理運営し、公共用水域を保全する。	

2 事業の概要 Do

実施の概要	農業集落排水等処理施設の維持管理業務や濃縮汚泥の運搬を行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	維持修繕工事	件	11	9	11	10
	施設の維持管理委託	件	1	1	1	1
	汚泥運搬業務	m ³	3,439	3,458	3,458	3,458
	管渠等の清掃	m	1,722	1,623.42	1,599.28	2,000

3 投入資源

会計区分		農集特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.228	0.228	100	0.228	100	0.228	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,066,406	2,130,816	103	2,064,692	97	2,127,224	103	
	事業費	69,915,958	71,452,006	102	68,332,552	96	75,623,000	111	
	合計	71,982,364	73,582,822	102	70,397,244	96	77,750,224	110	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	69,915,958	71,368,825	102	68,162,742	96	74,000,000	109	
	一般財源	2,066,406	2,213,997	107	2,234,502	101	3,750,224	168	
合計	71,982,364	73,582,822	102	70,397,244	96	77,750,224	110		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	排出汚泥のリサイクル率								
指標説明(式)	リサイクル処理施設への搬出量/濃縮汚泥搬出量 × 100								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

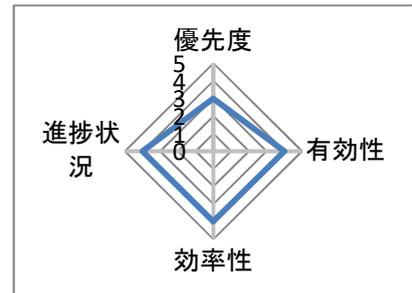
指標名1		汚泥排出量							
指標説明(式)		濃縮汚泥搬出量/処理水量×100 ※決算統計第10表より 年間総汚泥処分量/年間総処理水量							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	0.68	0.68	100.0	0.68	100.0	0.68	100.0	
	実績	0.81	0.84	103.7	0.85	101.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	濃縮汚泥は、下水管理センターで公共下水道の汚泥と混合し、脱水汚泥としてリサイクル施設へ搬出している。	4
効率性	手段の最適性	汚泥排出量を適正に行うことにより水質を維持している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	公共下水道との統合を推進する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	現在進行中である機能強化工事の進捗状況に合わせ、順次に統合施設を検討していく。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102050500		事業の種類	2	
年度	30	事務事業名	個別排水処理施設維持管理事業		予算事業名	個別排水処理施設維持管理事業	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	團 剛	担当者名	松本 好弘
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市戸別合併処理浄化槽の設置及び管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益者					
	誰(何)を対象として	受益者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	戸別合併処理浄化槽を適正に管理し、公共用水域の水質を保全する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		浄化槽維持管理業者に清掃点検業務を委託する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	浄化槽維持管理委託	基	16	19	19	21

3 投入資源

		会計区分 農集特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.100	0.100	100	0.100	100	0.100	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,101,926	1,142,912	104	1,113,140	97	1,121,784	101	
	事業費	854,376	976,692	114	1,084,104	111	1,337,000	123	
	合計	1,956,302	2,119,604	108	2,197,244	104	2,458,784	112	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	1,101,926	478,510	43	519,996	109	7,000	1	
	一般財源	854,376	1,641,094	192	1,677,248	102	2,451,784	146	
合計	1,956,302	2,119,604	108	2,197,244	104	2,458,784	112		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水質基準							
指標説明(式)		浄化槽水質基準適合数/浄化槽数×100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

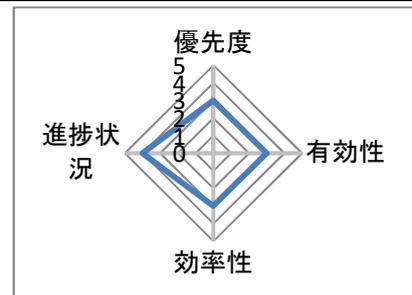
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	全ての浄化槽において、水質基準が満たされていた。	3
効率性	手段の最適性	専門的資格のある浄化槽維持管理業者により適正に清掃点検がされている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102050600		事業の種類	4		
年度	30	事務事業名	水酸化促進事業(農集)		予算事業名	水酸化促進事業		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	團 剛		担当者名	松本 好弘
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市水洗便所等改造資金貸付条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民						
	誰(何)を対象として	参加市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	環境衛生の向上を図るため、くみ取り便所の水洗化及び排水設備の設置を促進する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		水洗便所等改造資金貸付金により、水洗化を促進する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	改造資金貸付	件	0	0	0	1

3 投入資源

会計区分		農集特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.104	0.104	100	0.104	100	0.104	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,132,066	1,173,784	104	1,142,876	97	1,153,204	101	
	事業費	0	0	-	0	-	701,000	-	
	合計	1,132,066	1,173,784	104	1,142,876	97	1,854,204	162	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	0	0	-	0	-	96,000	-	
	一般財源	1,132,066	1,173,784	104	1,142,876	97	1,758,204	154	
合計	1,132,066	1,173,784	104	1,142,876	97	1,854,204	162		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		貸付件数							
指標説明(式)		貸付件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

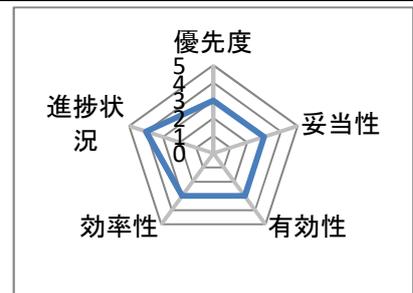
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	水洗化普及がすすんだことで件数は減少傾向にあり、本年度は申請がないが、資金的な負担を軽減して水洗化を促進する成果はあげている。	3
	市民サービス	水洗化されることで周辺の住環境の改善や公共水域の水質向上につながっている。	
効率性	手段の最適性	農業集落排水等への接続により、周辺の住環境の改善による市民生活の向上や、使用料収入の確保による特別会計経営の安定化など、多方面に良い効果を与えている。	3
	執行体制の効率性	窓口で直接対面により本人確認の上受付処理をしており、公正さを確保している。また、口座振替による償還金の収受を行うことで、効率性を向上させている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水洗化普及がすすんだことで件数は減少しているが、貸付による支援を受けて水洗化を行いたいという需要に応える事業方針はおおむね満たしている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	未水洗化世帯に対し、水洗化の促進を行う必要性がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	償還にあたっては、分割納付等、柔軟な対応が必要である。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010100		事業の種類	2				
年度	30	事務事業名	港湾管理事業		予算事業名	港湾管理事業		優先度	3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部都市整備課				
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する			担当課長	寺田 大輔		担当者名	長治 宏幸	
取組み事項		港湾の維持管理及び有効活用を図る			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規		港湾法								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民								
	誰(何)を対象として	港湾樋門の管理								
	意図(どのような状態にしたいのか)	港湾樋門の機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		報奨金を交付して相生市消防団に樋門点検を行ってもらう。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	点検件数	件	24	20	20	20

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.084	0.110	131	0.060	55	0.060	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	981,366	1,220,092	124	815,780	67	807,584	99	
	事業費	802,400	805,280	100	886,520	110	904,000	102	
	合計	1,783,766	2,025,372	114	1,702,300	84	1,711,584	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,783,766	2,025,372	114	1,702,300	84	1,711,584	101	
合計	1,783,766	2,025,372	114	1,702,300	84	1,711,584	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		樋門点検件数の増減							
指標説明(式)		樋門点検件数の増減							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	24	24	100.0	20	83.3	20	100.0	
	実績	24	20	83.3	20	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

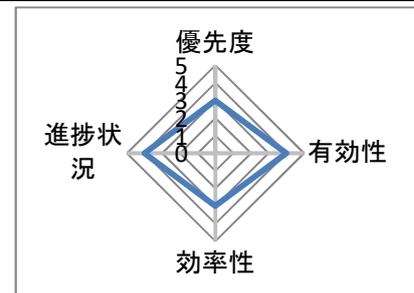
指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		点検件数／(1,938時間×参事以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0.5	0.18	36.0	0.17	94.4	0.13	76.5	
	実績	0.15	0.09	60.0	0.13	144.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	樋門の点検件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、定期的な点検の実施は市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理・港湾管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	仕事作業能率は年度毎にバラつきはあるが、全体的には横ばい傾向にある。	3
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	災害時の開閉作業は危機管理課主導となるが、都市整備課の操作従事職員の減により開閉作業が困難となる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	新たな操作従事者の育成が必要である。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010200		事業の種類	2		
年度	30	事務事業名	ポンプ場管理事業(港湾)		予算事業名	ポンプ場管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	寺田 大輔	担当者名	長治 宏幸	
取組み事項		港湾の維持管理及び有効活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		港湾法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	旭ポンプ場の管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水用ポンプの機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		県との協定に基づいて、旭排水ポンプ場の施設管理を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	操作件数	件	27	9	12	10

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.198	0.164	83	0.148	90	0.160	108	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,840,356	1,636,864	89	1,469,972	90	1,593,084	108	
	事業費	1,410,365	1,523,305	108	1,426,097	94	1,796,000	126	
	合計	3,250,721	3,160,169	97	2,896,069	92	3,389,084	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,500,000	1,500,000	100	1,500,000	100	1,500,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,750,721	1,660,169	95	1,396,069	84	1,889,084	135	
合計	3,250,721	3,160,169	97	2,896,069	92	3,389,084	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ポンプ操作件数の増減							
指標説明(式)		ポンプ操作件数の増減							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	50	50	100.0	25	50.0	25	100.0	
	実績	27	9	33.3	12	133.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

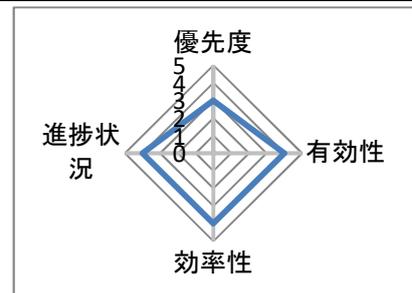
指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		操作件数／(1,938時間×参事以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0.13	0.20	153.8	0.09	45.0	0.08	88.9	
	実績	0.07	0.03	42.9	0.04	133.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ポンプの操作件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、必要な排水操作とそれを可能にする日頃の点検は、市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理・港湾管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	防災施設のため、コスト削減は不可能。	4
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	職員数の減により、排水操作が担当課のみでは実施できず、他課からの応援に頼っている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	担当課のみでの対応ではなく、全庁で対応することが必要である。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010300		事業の種類	2		
年度	30	事務事業名	海岸美化対策事業		予算事業名	海岸美化対策事業(都市整備)	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	寺田 大輔	担当者名	長治 宏幸	
取組み事項		港湾の維持管理及び有効活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		海岸美化対策事業						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	相生湾内の海岸美化 (相生湾に浮遊または海岸に放置されたゴミの除去)						
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生湾内の海岸美化を促進し、生活環境の保全を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		業務委託により海岸美化を促進する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	回収ゴミ(可燃)	kg	540	760	830	1000
	回収ゴミ(不燃)	kg	0	60	220	200
	回収ゴミ(木くず)	kg	1710	1520	4600	2000

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員		0.100	-	0.100	100	0.100	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	348,426	1,142,912	328	1,113,140	97	1,121,784	101	
	事業費	1,655,010	1,339,040	81	1,466,480	110	2,070,000	141	
	合計	2,003,436	2,481,952	124	2,579,620	104	3,191,784	124	
財源内訳	国庫支出金	700,000	700,000	100	700,000	100	700,000	100	
	県支出金	428,000	319,000	75	383,000	120	489,000	128	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	875,436	1,462,952	167	1,496,620	102	2,002,784	134	
合計	2,003,436	2,481,952	124	2,579,620	104	3,191,784	124		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

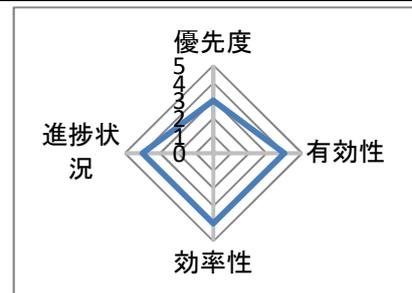
指標名1		年度内予算執行率							
指標説明(式)		年度内執行額 ÷ 年度内予算額 × 100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	78.8	64.7	82.1	70.8	109.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	毎年ゴミを収集し分別しており、相生湾の環境保全に有効に寄与している。	4
効率性	コストの節減	入札により、コスト縮減が図られている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	台風等の後には、漂着物の回収を実施する必要があるが、流木等の量が膨大な場合は、予算不足になる恐れがある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	委託者である兵庫県と協議し、適切に処理を行う必要がある。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010500		事業の種類	6	
年度	30	事務事業名	港湾整備事業(県事業)		予算事業名	優先度	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	寺田 大輔	担当者名	長治 宏幸	
取組み事項	港湾の維持管理及び有効活用を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		港湾法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	鰯浜地区住民					
	誰(何)を対象として	相生港鰯浜地区					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生港の多彩な空間を利用					

2 事業の概要 Do

実施の概要		埋立工 V=130,000m ³ 地盤改良 A=3,500m ³				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	工事内容					

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.157	0.058	37	-	0	0.042	-	
	臨時職員			-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,531,421	818,756	53	369,740	45	666,194	180	
	事業費			-	-	-	-	-	
	合計	1,531,421	818,756	53	369,740	45	666,194	180	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金			-	-	-	-	-	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他			-	-	-	-	-	
	一般財源	1,531,421	818,756	53	369,740	45	666,194	180	
合計	1,531,421	818,756	53	369,740	45	666,194	180		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

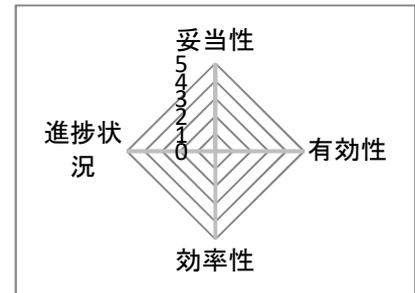
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性		県事業推進に際して詳細な部分で市民ニーズとの調整を図っている。	
効率性		事業費の二重投資等が防止出来ている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010600		事業の種類	2		
年度	30	事務事業名	海岸美化対策事業(瀬戸内)		予算事業名	海岸美化対策事業(建設管理)	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	團		担当者名	今井
取組み事項		港湾の維持管理及び有効活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	相生湾の一斉清掃(相生湾に浮遊または海岸に放置されたゴミの除去)						
	意図(どのような状態にしたいのか)	海岸の環境保全とゴミのポイ捨て防止の啓発を図り、もって、市民が快適に暮らせる街づくりを図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		市・市民ボランティア・関西電力・IHI・漁協等と組み、一斉に相生湾の清掃活動(リフレッシュ瀬戸内)を行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	活動回数	回	1	1	0	1	
	回収ゴミ(可燃)	kg	270	2980	165357	2000	
	回収ゴミ(不燃)	kg	870	2700	570	2000	
	回収ゴミ(汚泥)	kg	1190	100	0	0	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.080	0.088	110	0.088	100	0.088	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	951,226	1,050,296	110	1,023,932	97	1,027,524	100	
	事業費		105,240	-	148,710	141	148,000	100	
	合計	951,226	1,155,536	121	1,172,642	101	1,175,524	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	951,226	1,155,536	121	1,172,642	101	1,175,524	100	
合計	951,226	1,155,536	121	1,172,642	101	1,175,524	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業参加者数							
指標説明(式)		事業参加者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	450	450	100.0	450	100.0	450	100.0	
	実績	319	576	180.6	474	82.3			
指標名2		一人あたりのゴミ回収量							
指標説明(式)		(可燃ゴミ+不燃ゴミ+汚泥)÷参加者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
kg	目標	10	10	100.0	6.7	67.0	8.9	132.8	
	実績	7.3	10.0	137.0	350	3500.0			

【効率性】

指標名1		活動事業費の増減							
指標説明(式)		活動事業費の増減							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	117000	116000	99.1	116000	100.0	148000	127.6	
	実績	97250	105240	108.2	148710	141.3			
指標名2		ゴミ1kgあたりの回収コスト							
指標説明(式)		支出合計額/(可燃ゴミ+不燃ゴミ+汚泥)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	40	40	100.0	40	100.0	37	92.5	
	実績	41.7	18.2	43.6	1.1	6.0			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年1回の実施ではあるが、毎年大量のゴミを収集し分別しており、相生湾の環境保全に有効に寄与している。	5
	組織運営・適正管理	瀬戸内海の路ネットワークの事業の一環として、瀬戸内海沿岸の多数の市町村が海岸美化清掃(リフレッシュ瀬戸内)に取り組んでおり、広域的に取り組むことで事業効果を高めている。	
効率性	コストの節減	“ゴミ1kgあたりの回収コスト”は減少している。	5
	執行体制の効率性	市単独ではなく、相生湾沿岸の企業や漁協、市民ボランティアの協力を得ること、海岸美化の啓発に有効に寄与している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	5

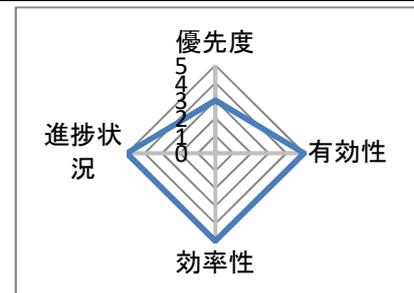
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	市民ボランティアの参加人数の向上

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	PRを高め参加者の拡大を図り、相生湾の環境美化を促進する。



配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020100		事業の種類	6		
年度	30	事務事業名	市内一円河川等改修事業		予算事業名	河川等改修事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する			担当課長	寺田 大輔	担当者名	長治 宏幸
取組み事項		河川を整備する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		河川整備事業						
根拠法規及び関連法規		河川法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市が管理する河川						
	意図(どのような状態にしたいのか)	地位住民を水害から守り、安全で心地よい生活ができる						

2 事業の概要 Do

実施の概要		未整備及び老朽箇所の整備計画を立て整備すること。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	準用河川改修工事	m	0	0	0	0	
	普通河川改修工事	m	110.5	63.6	53.0	100	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.080	0.518	648	0.420	81	0.358	85	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	951,226	4,369,036	459	3,492,020	80	3,148,374	90	
	事業費	15,314,480	11,247,200	73	13,344,560	119	8,350,000	63	
	合計	16,265,706	15,616,236	96	16,836,580	108	11,498,374	68	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	16,265,706	15,616,236	96	16,836,580	108	11,498,374	68	
合計	16,265,706	15,616,236	96	16,836,580	108	11,498,374	68		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		工事の実施率							
指標説明(式)		工事実施件数 ÷ 工事計画件数 × 100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

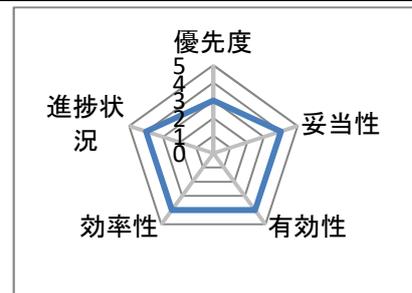
指標名1		年度内予算執行率							
指標説明(式)		年度内執行額 ÷ 年度内予算額 × 100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	99.8	97.8	98.0	99.9	102.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	防災に配慮した魅力ある河川の整備を図っている。	4
効率性	コストの節減	競争入札を導入し、業者間の競争意識を高めコスト縮減を図っている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	コスト縮減を図るため、施工方法等を検討する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	コストを抑えつつ、安全で快適な河川環境を構築する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020200		事業の種類	2				
年度	30	事務事業名	河川管理事業		予算事業名	河川管理事業		優先度	3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部都市整備課				
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する			担当課長	寺田 大輔		担当者名	長治 宏幸	
取組み事項		河川を整備する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名		河川環境美化整備								
根拠法規及び関連法規		河川法								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民								
	誰(何)を対象として	河川樋門の管理								
	意図(どのような状態にしたいのか)	河川樋門の機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		報奨金を交付して相生市消防団に樋門点検を行ってもらう。								
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画				
	点検件数	件	37	37	37	37				
	報償金の額	円	111000	111000	111000	111000				

3 投入資源

		一般会計							事業費単位:円
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.052	0.222	427	0.140	63	0.238	170	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	740,246	2,084,508	282	1,410,500	68	2,205,774	156	
	事業費	22,464,840	22,839,521	102	21,042,480	92	23,217,000	110	
	合計	23,205,086	24,924,029	107	22,452,980	90	25,422,774	113	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	23,205,086	24,924,029	107	22,452,980	90	25,422,774	113	
合計	23,205,086	24,924,029	107	22,452,980	90	25,422,774	113		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		樋門点検件数の増減								
指標説明(式)		樋門点検件数の増減								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考	
件	目標	37	37	100.0	37	100.0	37	100.0		
	実績	37	37	100.0	37	100.0	37	100.0		
指標名2										
指標説明(式)										
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考	
	目標			-		-		-		
	実績			-		-		-		

【効率性】

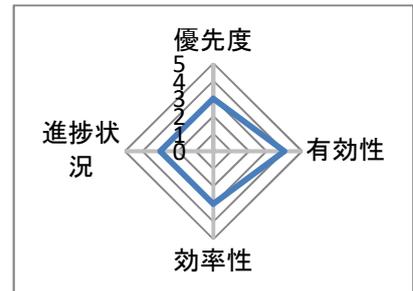
指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		点検件数／(1,938時間×主幹以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0.37	0.09	24.3	0.11	122.2	0.09	81.8	
	実績	0.37	0.09	24.3	0.13	144.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	樋門の点検件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、定期的な点検の実施は市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理・港湾管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	仕事作業能率は年度毎にバラつきはあるが、全体的には横ばい傾向にある。	3
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	樋門管理者が主導となり行うべきである。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	樋門管理者と協議を行い、適切に管理を行う必要がある。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020300		事業の種類	5	
年度	30	事務事業名	河川愛護事業		予算事業名	河川愛護事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	團		担当者名	今井
取組み事項	河川を整備する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	なし						
事業の目的	誰のために(具体的に)	河川底の土砂水草除去や護岸の草刈やしゅんせつ等を実施した自治会					
	誰(何)を対象として	河川愛護事業報奨金の支出					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民に河川の清掃活動に参加してもらうことで、河川を大切にしようとする心を育み、直接的・間接的に河川美化を促すとともに、自治会活動を強化し地域住民の連携を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		河川愛護事業を実施した自治会に対し、参加人数・実施時間・作業距離に応じて報奨金を支出する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	実施した自治会数	件	17	18	19	19
	報償金の額	円	359930	359960	358400	360000

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.180	0.108	60	0.108	100	0.108	100	
	臨時職員		0.020	-	0.020	100	0.020	100	
支出内訳	人件費	1,704,726	1,257,336	74	1,227,992	98	1,242,024	101	
	事業費	359,930	359,960	100	358,400	100	360,000	100	
	合計	2,064,656	1,617,296	78	1,586,392	98	1,602,024	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,064,656	1,617,296	78	1,586,392	98	1,602,024	101	
合計	2,064,656	1,617,296	78	1,586,392	98	1,602,024	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		実施した自治会数の増減							
指標説明(式)		実施した自治会数の増減							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	20	20	100.0	20	100.0	13	65.0	
	実績	17	18	105.9	19	105.6			
指標名2		報奨金の額の増減							
指標説明(式)		報奨金の額の増減							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	360000	360000	100.0	360000	100.0	360000	100.0	
	実績	359930	359960	100.0	358400	99.6			

【効率性】

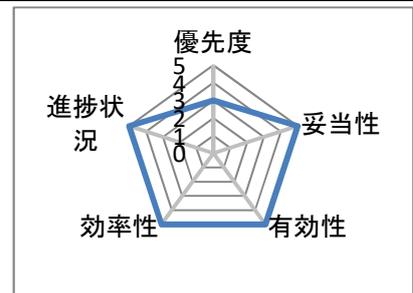
指標名1		1件あたりの報償金の額							
指標説明(式)		報償金の額／実施した自治会数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
金	目標	18947	18947	100.0	24000	126.7	20000	83.3	
	実績	21172	19998	94.5	18863	94.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	実施自治会がおおよそ限られており、河川流域にありながら実施していない自治会もある。	5
	上位施策への貢献度	住民自ら清掃に携わることで、単に河川の美化清掃の実施に止まらず、ゴミのポイ捨て等を防止させる効果が期待できる。また自治会活動の強化による住民間の連携強化も期待できる。	
効率性	コストの節減	報償金の予算額を配分することでコスト節減を図っている。	5
	手段の最適性	実施回数は各自治会とも年1回程度と、実施頻度が低い。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	住民の高齢化により、作業されない箇所が増えつつある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	実施自治会及び実施回数の増加を促進する。

配点	32.5
総合評価	28.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020400		事業の種類	3		
年度	30	事務事業名	ポンプ場管理事業(河川)		予算事業名	ポンプ場管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する			担当課長	寺田 大輔	担当者名	長治 宏幸
取組み事項		河川を整備する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		河川法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	大谷川排水機場の管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水用ポンプの機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		県との協定に基づいて、大谷川排水機場の施設管理を行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	操作件数	件	0	1	2	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.172	0.208	121	0.292	140	0.172	59	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,644,446	1,976,456	120	2,540,468	129	1,687,344	66	
	事業費	3,305,146	3,333,636	101	3,632,556	109	4,109,000	113	
	合計	4,949,592	5,310,092	107	6,173,024	116	5,796,344	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	3,892,400	3,893,000	100	3,893,000	100	3,893,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,057,192	1,417,092	134	2,280,024	161	1,903,344	83	
合計	4,949,592	5,310,092	107	6,173,024	116	5,796,344	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ポンプ操作件数の増減							
指標説明(式)		ポンプ操作件数の増減							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	-	0	-		-	
	実績	0	1	-	2	200.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

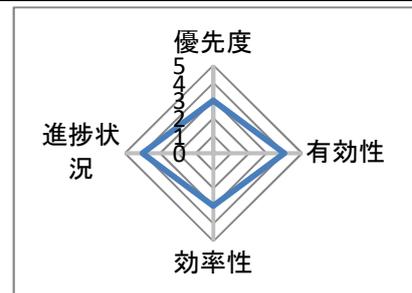
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ポンプの操作件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、必要な排水操作とそれを可能にする日頃の点検は、市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	防災施設のため、コスト削減は不可能。	3
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	職員数の減により、排水操作が担当課のみでは実施できず、他課からの応援に頼っている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	担当課のみでの対応ではなく、全庁で対応することが必要である。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050104010100		事業の種類	1		
年度	30	事務事業名	景観形成事業		予算事業名			
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		相生の特性を活かす景観と緑化を推進する			担当課長	寺田 大輔	担当者名	名倉 禎庸
取組み事項		特性を活かす景観をつくる			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	建築物、構造物等						
	意図(どのような状態にしたいのか)	景観に対する意識の向上を促し良好な景観形成を行う。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		優れた景観を創造し、又は保全するため県の「景観の形成等に関する条例」に基づく景観誘導。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.084	0.096	114	0.220	229	0.088	40	
	臨時職員		0.100	-		0		-	
支出内訳	人件費	981,366	1,375,440	140	2,005,220	146	1,027,524	51	
	事業費			-		-		-	
	合計	981,366	1,375,440	140	2,005,220	146	1,027,524	51	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	981,366	1,375,440	140	2,005,220	146	1,027,524	51	
合計	981,366	1,375,440	140	2,005,220	146	1,027,524	51		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない							
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

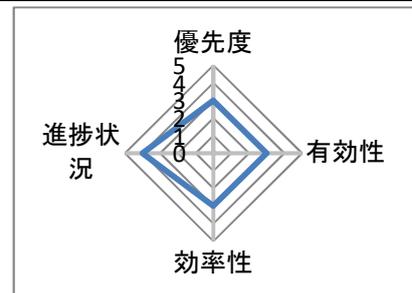
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	景観行政そのものが緩やかな行政指導であり、短時間で目に見える効果が上がりにくい。	3
効率性	コストの節減	普及啓発活動として県が作成したパンフレット等の配布	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	県の景観条例により大規模建築物等については、審査されているが、対象建築物が少ない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	景観行政に関する普及・啓発の方法を検討が必要。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050104020100	事業の種類	2
年度	30	事務事業名	公園施設維持管理事業	予算事業名	公園施設維持管理事業 優先度
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課
施策名(中)		相生の特性を活かす景観と緑化を推進する		担当課長	寺田 大輔
取組み事項		公園、緑地を整備する		担当者名	宮崎 晃
実施計画事業名		都市公園整備事業 中央公園テニスコート芝張替修繕		都市公園維持修繕事業 公園内トイレ改修工事	
根拠法規及び関連法規		公園法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	公園の委託による維持管理			
	意図(どのような状態にしたいのか)	都市公園等の健全な発達を図り、公共の福祉に資する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		公園の維持管理を委託することで、公園の整備充実を図っていく。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	公園の管理箇所数	箇所	41	41	41	41

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.170	0.244	144	0.332	136	0.292	88	
	臨時職員	0.300	0.040	13	0.040	100	0.040	100	
支出内訳	人件費	2,411,476	2,359,664	98	2,948,588	125	2,744,744	93	
	事業費	58,735,471	54,498,976	93	51,478,369	94	53,029,000	103	
	合計	61,146,947	56,858,640	93	54,426,957	96	55,773,744	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	61,146,947	56,858,640	93	54,426,957	96	55,773,744	102	
合計	61,146,947	56,858,640	93	54,426,957	96	55,773,744	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		公園1箇所あたりの維持管理コスト							
指標説明(式)		維持管理費/管理公園数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	1407880	1349024	95.8	1321121	97.9	1293390	97.9	
	実績	1432572	1329243	92.8	1255569	94.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

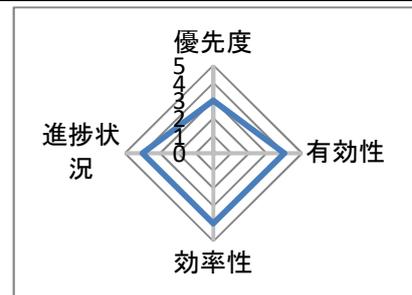
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	住民が気持ちよく施設を利用できるように清潔に維持している。	4
	期待する目標	災害時の避難地にも指定されていることから、日頃の維持管理が必要。	
効率性	コストの節減	みんなで地域を守るという観点からも、地域住民への協力による維持管理の必要性があると思われる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり事業が進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	地元自治会が公園管理に辞退傾向であるため、今後、公園管理について検討する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	公園管理の在り方について方策を検討する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050104030100		事業の種類	4				
年度	30	事務事業名	緑化推進事業		予算事業名	緑化推進事業		優先度	3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	市民生活部地域振興課				
施策名(中)		相生の特性を活かす景観と緑化を推進する			担当課長	松本 秀文		担当者名	大谷 健人	
取組み事項		緑化を推進する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規										
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民								
	誰(何)を対象として	市民								
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民にうるおいとやすらぎを与える、みどり豊かなまちづくりを進めるため、市民の緑化に対する関心を高め緑化普及、啓発を図る。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市花と緑の協会に委託し、市内のフラワーポット、花壇の維持管理、栽培用の苗木の配布を行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	講習会開催回数	回	3	3	3	3	
	市内花苗植栽数	株	5031	4754	3147	4000	
	まっはなみかたんぼ数	個所	44	44	22	0	
	つばき園の清掃回数	回	5	5	5	5	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.316	0.332	105	0.400	120	0.320	80	
	臨時職員	0.520	0.492	95	0.212	43	0.012	6	
支出内訳	人件費	4,085,126	4,229,416	104	3,930,368	93	2,884,324	73	
	事業費	1,291,940	1,290,820	100	1,355,280	105	1,358,000	100	
	合計	5,377,066	5,520,236	103	5,285,648	96	4,242,324	80	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,377,066	5,520,236	103	5,285,648	96	4,242,324	80	
合計	5,377,066	5,520,236	103	5,285,648	96	4,242,324	80		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ガーデニング講習会開催回数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2		市内プランター・花壇に植栽した花苗数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	4800	5100	106.3	5000	98.0	4000	80.0	
	実績	5031	4754	94.5	3147	66.2			

【効率性】

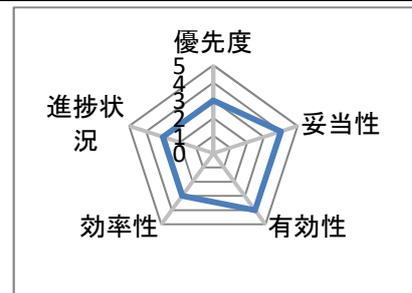
指標名1		事業費に係る花苗購入費の割合							
指標説明(式)		花苗購入費÷事業費							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	25	27	108.0	25	92.6	25	100.0	
	実績	27	25	92.6	25	100.0			
指標名2		まちなみガーデンの開催にかかる参加者1人あたりの経費							
指標説明(式)		まちなみガーデンの開催費/参加数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	4753	4785	100.7	6910	144.4	0	0.0	
	実績	4753	4784	100.7	6910	144.4			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市民団体の花と緑の協会に委託し、継続的に植栽管理を行っている。また、若年世代を対象としたガーデニング講習を開催し、多くの小学生の参加を得た。	4
	市民サービス	多様な種類の花苗の配布や市民ニーズの高い講習会の開催が不可欠である。	
効率性	執行体制の効率性	花と緑の協会会員が管理する花壇、プランターの一部に、高齢化により植栽管理が困難な場所が発生してきている。	3
	手段の最適性	これまで主に花と緑の協会だけに委託してきたが、より柔軟な事業体制を検討する必要がある。(県のアドプト制度はある)	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	まちなみガーデンの個人宅庭の参加数が減少している。庭主の数を増やすとともに質の向上についても考える必要がある。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	緑化にかかわるボランティアスタッフの高齢化により委託先の花と緑の協会が解散の見込みとなった



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	解散見込みの花と緑の協会の解散見込みによる事業継続のあり方の検討

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050105010100	事業の種類	9
年度	30	事務事業名	公債費元金償還事業	予算事業名	公債費元金償還事業 優先度
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課
施策名(中)		その他		担当課長	團 剛
取組み事項		その他		担当者名	松本 好弘
				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
下水道法・地方財政法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	公共下水道を利用する市民			
	誰(何)を対象として	公共下水道を利用する市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	短期に多額の建設費用を必要とするが、施設は長期にわたり使用できることから、世代間の負担の公平性を保つ			

2 事業の概要 Do

実施の概要		公共下水道の建設財源として借り入れた下水道事業債の元金を償還する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	下水道事業債元金償還(公共分)	円	1,465,639,670	1,442,873,345	1,408,506,963	1,380,636,000

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.120	0.120	100	0.120	100	0.120	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,252,626	1,297,272	104	1,261,820	97	1,278,884	101	
	事業費	1,465,639,670	1,442,873,345	98	1,408,506,963	98	1,380,636,000	98	
	合計	1,466,892,296	1,444,170,617	98	1,409,768,783	98	1,381,914,884	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債	604,900,000	705,300,000	117	641,200,000	91	618,000,000	96	
	その他	131,263,726	107,373,849	82	104,426,191	97	96,185,000	92	
	一般財源	730,728,570	631,496,768	86	664,142,592	105	667,729,884	101	
合計	1,466,892,296	1,444,170,617	98	1,409,768,783	98	1,381,914,884	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

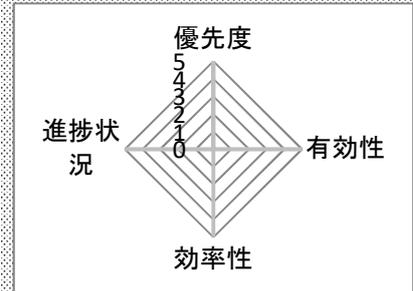
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050105010200		事業の種類	9		
年度	30	事務事業名	公債費利子償還事業		予算事業名	公債費利子償還事業 優先度		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		その他		担当課長	團 剛		担当者名	松本 好弘
取組み事項		その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		下水道法・地方財政法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	公共下水道を利用する市民						
	誰(何)を対象として	公共下水道を利用する市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	短期に多額の建設費用を必要とするが、施設は長期にわたり使用できることから、世代間の負担の公平性を保つ						

2 事業の概要 Do

実施の概要		公共下水道の建設財源として借り入れた下水道事業債の利子を償還する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	下水道事業債利子償還(公共分)	円	342,399,932	304,465,842	267,746,974	244,307,000

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.120	0.120	100	0.120	100	0.120	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,252,626	1,297,272	104	1,261,820	97	1,278,884	101	
	事業費	342,399,932	304,465,842	89	267,746,974	88	244,307,000	91	
	合計	343,652,558	305,763,114	89	269,008,794	88	245,585,884	91	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	343,652,558	305,763,114	89	269,008,794	88	245,585,884	91	
合計	343,652,558	305,763,114	89	269,008,794	88	245,585,884	91		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

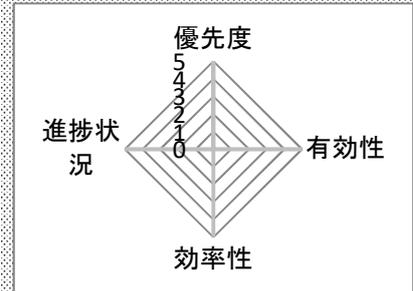
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050105010300		事業の種類	9	
年度	30	事務事業名	公債費元金償還事業		予算事業名	公債費元金償還事業 優先度	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		その他		担当課長	團 剛	担当者名	松本 好弘
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		地方財政法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農業集落排水等を利用する市民					
	誰(何)を対象として	農業集落排水等を利用する市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	短期に多額の建設費用を必要とするが、施設は長期にわたり使用できることから、世代間の負担の公平性を保つ					

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水等の建設財源として借り入れた下水道事業債の元金を償還する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	下水道事業債元金償還(農集分)	円	222,664,503	231,396,614	240,030,809	252,136,000

3 投入資源

会計区分		農集特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100	0.080	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	951,226	988,552	104	964,460	98	964,684	100	
	事業費	222,664,503	231,396,614	104	240,030,809	104	252,136,000	105	
	合計	223,615,729	232,385,166	104	240,995,269	104	253,100,684	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債	101,200,000	103,500,000	102	102,200,000	99	112,300,000	110	
	その他			-		-		-	
	一般財源	122,415,729	128,885,166	105	138,795,269	108	140,800,684	101	
合計	223,615,729	232,385,166	104	240,995,269	104	253,100,684	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

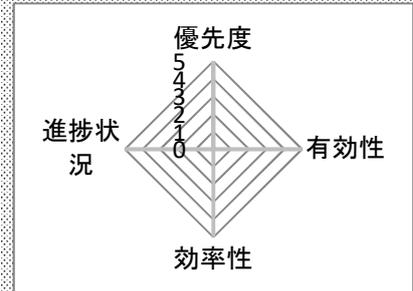
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050105010400		事業の種類	9		
年度	30	事務事業名	公債費利子償還事業		予算事業名	公債費利子償還事業 優先度		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		その他		担当課長	團 剛		担当者名	松本 好弘
取組み事項		その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		地方財政法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	農業集落排水等を利用する市民						
	誰(何)を対象として	農業集落排水等を利用する市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	短期に多額の建設費用を必要とするが、施設は長期にわたり使用できることから、世代間の負担の公平性を保つ						

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水等の建設財源として借り入れた下水道事業債の利子を償還する				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	下水道事業債利子償還(農集分)	円	70,044,800	65,259,141	60,314,146	56,694,000

3 投入資源

会計区分		農集特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100	0.080	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	951,226	988,552	104	964,460	98	964,684	100	
	事業費	70,044,800	65,259,141	93	60,314,146	92	56,694,000	94	
	合計	70,996,026	66,247,693	93	61,278,606	92	57,658,684	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	70,996,026	66,247,693	93	61,278,606	92	57,658,684	94	
合計	70,996,026	66,247,693	93	61,278,606	92	57,658,684	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

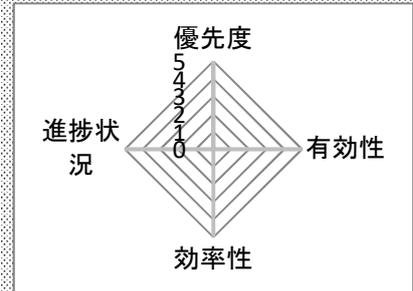
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0